

# DCS-4802E

Full HD IP66 PoE Mini Dome Camera

## ユーザマニュアル



# 目次

---

<b>1. お使いになるまえに</b> .....	<b>4</b>
本製品について .....	5
機能概要 .....	5
本製品の特長 .....	5
本製品の接続例 .....	5
製品名と品番 .....	5
本マニュアルについて .....	6
マニュアルの構成 .....	6
マニュアルの対象者 .....	6
表記規則 .....	6
安全にお使いいただくために .....	7
ご使用上の注意 .....	9
静電気障害を防止するために .....	9
電源の異常 .....	9
<b>2. 設置のしかた</b> .....	<b>11</b>
パッケージの内容 .....	12
動作環境 .....	12
設置についてのご注意 .....	12
本体各部名称 .....	13
本体及びケーブルコネクタ .....	13
製品の設置/角度の調整 .....	14
オプション取付キットを使用せずに設置する場合 .....	14
オプション取付キット (DCS-37-1) を使用して設置する場合 .....	15
オプション取付キット (DCS-37-2) を使用して設置する場合 .....	17
オプション取付キット (DCS-37-3) を使用して設置する場合 .....	18
防水コネクタの取り付け .....	19
インストールウィザード .....	21
<b>3. WEB GUI 画面について</b> .....	<b>23</b>
WEB GUI画面へのログイン .....	24
WEB GUI画面からのログアウト .....	24
Web GUI画面の構成 .....	25
LIVE VIDEO .....	25
SETUP .....	26
ADVANCED .....	26
MAINTENANCE .....	27
STATUS .....	27
HELP .....	28
<b>4. Set Up (基本設定)</b> .....	<b>29</b>
Setup Wizard .....	30
インターネット接続設定 .....	30
IPカメラ動体検知設定 .....	32
Network Setup .....	34
Dynamic DNS .....	38
Image Setup .....	39
Video .....	40
Preset .....	42
Motion Detection .....	44
Time and Date .....	45
Event Setup .....	46
SERVER .....	47
MEDIA .....	48
EVENT .....	49
RECORDING .....	51

---

<b>5. Advanced (詳細設定)</b> .....	52
ICR and IR.....	53
HTTPS.....	54
Access List.....	55
SNMP.....	56
<b>6. Maintenance(メンテナンス)</b> .....	57
Admin.....	58
System.....	60
Firmware Upgrade.....	61
<b>7. Status(ステータス)</b> .....	62
Device Info.....	63
Log.....	64
<b>8. 付録</b> .....	65
工場出荷時設定に戻す.....	66
リセットボタンを使用する場合.....	66
Web GUIからリセットする場合.....	66
FAQ.....	67

---

---

# お使いになるまえに

# 1

このたびは、弊社製品をお買い上げいただきありがとうございます。  
本書は、製品を正しくお使いいただくための取扱説明書です。必要な場合には、いつでもご覧いただけますよう大切に保管してください。

また、必ず本書および設置マニュアルをよくお読みいただき、内容をご理解いただいた上で記載事項に従ってご使用ください。

■ 本製品について.....	5
機能概要.....	5
本製品の特長.....	5
本製品の接続例.....	5
製品名と品番.....	5
■ 本マニュアルについて.....	6
マニュアルの構成.....	6
マニュアルの対象者.....	6
表記規則.....	6
■ 安全にお使いいただくために.....	7
■ ご使用上の注意.....	9
■ 静電気障害を防止するために.....	9
■ 電源の異常.....	9

# 本製品について

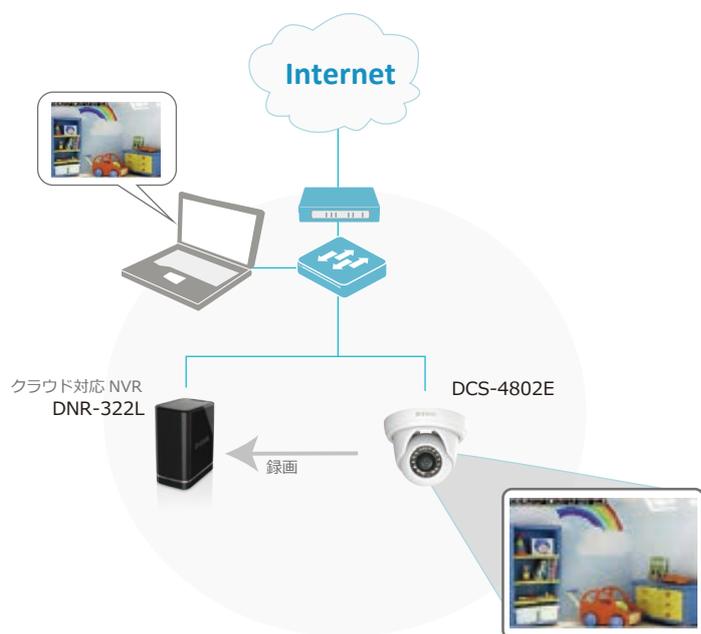
## ■機能概要

DCS-4802Eは、高画質対応、動体検知機能など優れたコストパフォーマンスを提供するIP66 対応ネットワークカメラです。10/100BASE-TX ポートはPoE受電機能に対応しており電源供給の難しい箇所においても設置を可能にします。Webブラウザを使用して、簡単にインターネット経由でどこからでもライブ映像の視聴やカメラの管理を行うことが可能です。また、ネットワークビデオレコーダーのDNR-322Lに接続することで、大容量の録画を快適に管理・閲覧することができます。

## ■本製品の特長

- NVR (DNR-322L) 対応
- IP66対応
- PoE (IEEE802.3af)
- HD
- メガピクセル
- WDR
- 夜間モード
- プライバシーマスク機能
- 動体検知
- ONVIF
- H.264
- RoHS指令対応

## ■本製品の接続例



## ■製品名と品番

製品名	品番
DCS-4802E	DCS-4802E/A2

# 本マニュアルについて

## ■ マニュアルの構成

### 1章: お使いになるまえに

本マニュアルの紹介と、本製品をお使いになる前の注意事項を記載しています。

→『[お使いになるまえに](#):p.4』

### 2章: 設置のしかた

本製品の各部名称と設置方法について説明します。

→『[設置のしかた](#):p.11』

### 3章: WEB GUI画面について

本製品の設定・管理を行うWEB GUIへのログイン方法および画面構成について説明します。

→『[WEB GUI画面について](#):p.23』

### 4章: Setup(基本設定)

ネットワーク設定やプロファイルの設定、動体検知設定など、カメラの機能設定を行います。

→『[Set Up \(基本設定\)](#):p.29』

### 5章: Advanced(詳細設定)

ICR、アクセスリストなど、カメラの詳細設定を行います。

→『[Advanced \(詳細設定\)](#):p.52』

### 6章: Maintenance(メンテナンス)

管理者情報の設定やファームウェアアップグレード、工場出荷時設定へのリセットなど、本製品のメンテナンスを行います。

→『[Maintenance\(メンテナンス\)](#):p.57』

### 7章: Status(ステータス)

カメラのデバイス情報とログを表示します。

→『[Status\(ステータス\)](#):p.62』

### 8章: 付録

製品を工場出荷時の設定に戻す方法や、FAQ(よくご質問いただく内容)などについて記載しています。

→『[付録](#):p.65』

## ■ マニュアルの対象者

本マニュアルは、本製品の設置および管理についての情報を記載しています。また、ネットワーク管理の概念や用語に十分な知識を持っているネットワーク管理者を対象としています。

## ■ 表記規則

本マニュアルでは以下の記号を使用します。

**⚠警告** この表示を無視し、間違った使い方をすると、火災や感電などにより人身事故になるおそれがあります。

**⚠注意** この表示を無視し、間違った使い方をすると、傷害または物損損害が発生するおそれがあります。

**重要** 設定の組み合わせ、イベントや手順によりネットワークの接続状態やセキュリティなどに悪影響を及ぼす恐れのある事項について説明します。

**注意** 仕様や設定に関する注意事項を記述します。

**メモ** 特長や技術についての詳細情報を記述します。

本マニュアル中での字体、記号についての表記規則は以下のとおりです。

字体	解説	例
『水色』	マニュアル内の参照先	『 <a href="#">Set Up (基本設定)</a> :p.29』
[青色]	画面遷移	[SETUP] > [Setup Wizard]

# 安全にお使いいただくために

ご自身の安全を確保し、システムを破損から守るために、以下に記述する安全のための指針をよくお読みください。

## 安全上のご注意

必ずお守りください

本製品を安全にお使いいただくために、以下の項目をよくお読みになり必ずお守りください。

	<b>危険</b>	この表示を無視し、間違った使い方をすると、死亡または重傷を負うおそれがあります。
	<b>警告</b>	この表示を無視し、間違った使い方をすると、火災や感電などにより人身事故になるおそれがあります。
	<b>注意</b>	この表示を無視し、間違った使い方をすると、傷害または物損損害が発生するおそれがあります。

記号の意味  してはいけない「禁止」内容です。  必ず実行していただく「指示」の内容です。

### 危険

- |   |   |
|---|---|
| <p> 禁止 分解・改造をしない<br/>火災、やけど、けが、感電などの原因となります。</p> <p> 禁止 めれた手でさわらない<br/>感電の原因となります。</p> <p> 禁止 水をかけたり、ぬらしたりしない<br/>内部に水が入ると、火災、感電、故障の原因となります。</p> <p> 禁止 水などの液体（飲料水、汗、海水、ペットの尿など）でぬれた状態で触ったり、電源を入れたりしない<br/>火災、やけど、けが、感電、故障の原因となります。</p> <p> 禁止 各種端子やスロットに水などの液体（飲料水、汗、海水、ペットの尿など）をいれない。万が一、入ってしまった場合は、直ちに電源プラグをコンセントから抜く<br/>火災、やけど、けが、感電、故障の原因となります。</p> | <p> 禁止 油煙、湯気、湿気、埃の多い場所、高温になる場所や熱のこもりやすい場所（火のそば、暖房器具のそば、こたつや布団の中、直射日光の当たる場所、炎天下の車内、風呂場など）、振動の激しい場所では、使用、保管、放置しない<br/>火災、やけど、けが、感電、故障の原因となります。</p> <p> 禁止 内部に金属物や燃えやすいものを入れない<br/>火災、感電、故障の原因となります。</p> <p> 禁止 砂や土、泥をかけたり、直に置いたりしない。また、砂などが付着した手で触れない<br/>火災、やけど、けが、感電、故障の原因となります。</p> <p> 禁止 電子レンジ、IH 調理器などの加熱調理機、圧力釜など高压容器に入れたり、近くに置いたりしない<br/>火災、やけど、けが、感電、故障の原因となります。</p> |
|---|---|

### 警告

- |  |   |
|--|---|
| <p> 禁止 落としたり、重いものを乗せたり、強いショックを与えたり、圧力をかけたりしない<br/>故障の原因となります。</p> <p> 禁止 発煙、焦げ臭い匂いの発生などの異常状態のまま使用しない<br/>感電、火災の原因となります。使用を止めて、ケーブル/コード類を抜いて、煙が出なくなってから販売店に修理をご依頼ください。</p> <p> 禁止 表示以外の電圧で使用しない<br/>火災、感電、または故障の原因となります。</p> <p> 禁止 たこ足配線禁止<br/>たこ足配線などで定格を超えると火災、感電、または故障の原因となります。</p> <p> 指示 設置、移動のときは電源プラグを抜く<br/>火災、感電、または故障の原因となります。</p> <p> 禁止 雷鳴が聞こえたら、ケーブル/コード類にはさわらない<br/>感電の原因となります。</p> <p> 禁止 ケーブル/コード類や端子を破損させない<br/>無理なねじり、引っ張り、加工、重いもの下敷きなどは、ケーブル/コードや端子の破損の原因となり、火災、感電、または故障の原因となります。</p> <p> 指示 本製品付属の AC アダプタもしくは電源ケーブルを指定のコンセントに正しく接続して使用する<br/>火災、感電、または故障の原因となります。</p> <p> 禁止 各光源をのぞかない<br/>光ファイバケーブルの断面、コネクタおよび本製品のコネクタや LED をのぞきますと強力な光源により目を損傷するおそれがあります。</p> <p> 禁止 各種端子やスロットに導電性異物（金属片、鉛筆の芯など）を接触させたり、ほこりが内部に入ったりしないようにする<br/>火災、やけど、けが、感電または故障の原因となります。</p> <p> 禁止 使用中に布団で覆ったり、包んだりしない<br/>火災、やけどまたは故障の原因となります。</p> | <p> 指示 ガソリンスタンドなど引火性ガスが発生する可能性のある場所や粉じんが発生する場所に立ち入る場合は、必ず事前に本製品の電源を切る<br/>引火性ガスなどが発生する場所で使用すると、爆発や火災の原因となります。</p> <p> 禁止 カメラのレンズに直射日光などを長時間あてない<br/>素子の退色、焼付きや、レンズの集光作用により、火災、やけど、けがまたは故障の原因となります。</p> <p> 指示 無線製品は病院内で使用の場合は、各医療機関の指示に従って使用する<br/>電子機器や医療電気機器に悪影響を及ぼすおそれがあります。</p> <p> 禁止 本製品の周辺に放熱を妨げるようなもの（フィルムやシールでの装飾を含む）を置かない<br/>火災、または故障の原因となります。</p> <p> 指示 耳を本体から離してご使用ください<br/>大きな音を長時間連続して聞くと、難聴などの耳の障害の原因となります。</p> <p> 指示 無線製品をご使用の場合、医用電気機器などを装着している場合は、医用電気機器メーカーもしくは、販売業者に、電波による影響について確認の上使用する<br/>医療電気機器に悪影響を及ぼすおそれがあります。</p> <p> 指示 高精度な制御や微弱な信号を取り扱う電子機器の近くでは使用しない<br/>電子機器が誤作動するなど、悪影響を及ぼすおそれがあります。</p> <p> 指示 ディスプレイ部やカメラのレンズを破損した際は、割れたガラスや露出した端末内部に注意する<br/>破損部や露出部に触れると、やけど、けが、感電の原因となります。</p> <p> 指示 ベットなどが本機に噛みつかないように注意する<br/>火災、やけど、けがなどの原因となります。</p> <p> 禁止 コンセントに AC アダプタや電源ケーブルを抜き差しするときは、金属類を接触させない<br/>火災、やけど、感電または故障の原因となります。</p> <p> 禁止 AC アダプタや電源ケーブルに海外旅行用の変圧器等を使用しない<br/>発火、発熱、感電または故障の原因となります。</p> |
|--|---|

**警告**

- !** ACアダプタもしくは電源プラグについたほこりは、拭き取るほこりが付着した状態で使用すると、火災、やけど、感電または故障の原因となります。
- !** ACアダプタや電源ケーブルをコンセントにさしこむときは、確実に差し込む。確実に差し込まないと、火災、やけど、感電もしくは故障の原因となります。
- !** 接続端子が曲がるなど変形した場合は、直ちに使用を中止する。また、変形をもとに戻しての使用も行わない。端子のショートにより、火災、やけど、けが、感電または故障の原因となります。
- !** 各種接続端子を機器本体に接続する場合、斜めに差したり、差し込んだ状態で引っ張ったりしない。火災、やけど、感電または故障の原因となります。
- !** 使用しない場合は、ACアダプタもしくは電源ケーブルをコンセントから抜く。電源プラグを差したまま放置すると、火災、やけど、感電または故障の原因となります。
- !** お手入れの際は、ACアダプタもしくは電源ケーブルをコンセントから抜かずに行くと、火災、やけど、感電または故障の原因となります。
- 禁止** SDやMicroSDカード、USBメモリの使用中は、カードやメモリを取り外したり、本製品の電源を切ったりしない。データの消失、機器本体の故障の原因となります。
- 禁止** 磁気カードや磁気を帯びたものを本製品に近づけない。磁気カードのデータが消えてしまうおそれもしくは機器本体の誤作動の原因となります。
- !** ディーリンクジャパンが販売している無線機器は国内専用のため、海外で使用しない。海外では国によって電波使用制限があるため、本製品を使用した場合、罰せられる場合があります。海外から持ち込んだディーリンク製品や並行輸入品を日本国内で使用する場合も同様に、罰せられる場合があります。

**注意**

- 禁止** 乳幼児の手の届く場所では使わない。やけど、ケガまたは感電の原因となります。
- !** 静電気注意  
コネクタや電源プラグの金属端子に触れたり、帯電したものを近づけると故障の原因となります。
- 禁止** コードを持って抜かない。コードを無理に曲げたり、引っ張ると、コードや機器本体の破損の原因となります。
- 禁止** 振動が発生する場所では使用しない。故障の原因となります。
- !** 付属品の使用は取扱説明書に従う。本製品の付属品は、取扱説明書に従い、他の製品に使用しないでください。機器の破損の原因となります。
- 禁止** 破損したまま使用しない。火災、やけどまたはけがの原因となります。
- 禁止** ぐらついた台の上や傾いた場所などの不安定な場所や高所には置かない。落下して、けがなどの原因となります。
- 禁止** 子供が使用する場合は、保護者が取扱いの方法を教え、誤った使い方をさせない。けがや故障などの原因となります。
- !** 本製品を長時間連続使用する場合は、温度が高くなることもあるため、注意する。また、使用中に眠ってしまうなどして、意図せず長時間触れることがないようにする。温度の高い部分に直接長時間触れるとお客様の体質や体調によっては肌の赤みやかゆみ、かぶれ、低温やけどの原因となります。
- 禁止** コンセントにつないだ状態で、ACアダプタや電源コンセントに長時間触れない。やけど、感電の原因となります。
- !** 一般の電話機やコードレス電話、テレビ、ラジオなどをお使いになっている近くで使用しない。近くで使用すると、本製品が悪影響を及ぼす原因となる場合があるため、なるべく離れた場所で使用してください。
- 禁止** D-Linkが指定したオプション品がある場合は、指定オプションを使用する。不正なオプション品を使用した場合、故障、破損の原因となります。

**電波障害自主規制について**

本製品は、情報処理装置等電波障害自主規制協議会（VCCI）の基準に基づくクラスA情報技術装置です。この装置を家庭環境で使用すると電波妨害を引き起こすことがあります。この場合には使用者が適切な対策を講ずるよう要求されることがあります。

## ご使用上の注意

けがや感電、火災および装置の破損のリスクを減らすために、以下の注意事項を遵守してください。

- ◎ マニュアルなどに記載されている以外の方法でのご使用はやめてください。
- ◎ 食べ物や飲み物が本製品にかからないようにしてください。また、水気のある場所での運用は避けてください。
- ◎ 本製品の開口部に物をさしこまないでください。火事や感電を引き起こすことがあります。
- ◎ 付属のACアダプタもしくは電源ケーブルのみを使用してください。
- ◎ 感電を防止するために、本製品と周辺機器の電源ケーブルは、正しく接地された電気コンセントに接続してください。
- ◎ やむなく延長コードや電源分岐回路を使用する場合においても、延長コードと電源分岐回路の定格を守ってください。延長コードまたは電源分岐回路に差し込まれているすべての製品の合計定格アンペア数が、その延長コードまたは電源分岐回路の定格アンペア限界の8割を超えないことを確認してください。
- ◎ 一時的に急激に起こる電力の変動から本製品を保護するためには、サージサプレッサ、回線調整装置、または無停電電源装置 (UPS) を使用してください。
- ◎ ケーブルと電源コードは慎重に取り付けてください。踏みつけられたり躓いたりしない位置に、ケーブルと電源コードを配線し、コンセントに差し込んでください。また、ケーブル上に物を置いたりしないようにしてください。
- ◎ 電源ケーブルや電源プラグを改造しないでください。
- ◎ システムに対応しているホットプラグ可能な電源装置に電源を接続したり、切り離したりする際には、以下の注意を守ってください。
  - 電源装置を取り付ける場合は、電源装置を取り付けてから、電源ケーブルを電源装置に接続してください。
  - 電源装置を取り外す場合は、事前に電源ケーブルを抜いておいてください。
  - システムに複数の電源がある場合、システムから電源を切り離すには、すべての電源ケーブルを電源装置から抜いておいてください。
- ◎ 抜け防止機構のあるコンセントをご使用の場合、そのコンセントの取り扱い説明書に従ってください。
- ◎ カバーを外す際、あるいは内部コンポーネントに触れる際は、製品の温度が十分に下がってから行ってください。
- ◎ 本製品は動作中に高温になる場合があります。本製品の移動や取り外しの際には、ご注意ください。
- ◎ 本製品は動作中に高温になる場合がありますが、手で触れることができる温度であれば故障ではありません。ただし長時間触れたまま使用しないでください。低温やけどの原因になります。
- ◎ 市販のオプション品や他社製品を使用する場合、当社では動作保証は致しませんので、予めご了承ください。
- ◎ 製品に貼られている製品ラベルや認証ラベルをはがさないでください。はがしてしまうとサポートを受けられなくなります。

## 静電気障害を防止するために

静電気は、本製品内部の精密なコンポーネントを損傷する恐れがあります。静電気による損傷を防ぐため、本製品に触れる前に、身体から静電気を逃がしてください。

さらに、静電気放出 (ESD) による損傷を防ぐため、以下の手順を実行することをお勧めします。

1. 機器を箱から取り出すときは、機器をシステム等に取り付ける準備が完了するまで、本製品を静電気防止包装から取り出さないでください。静電気防止包装から取り出す直前に、必ず身体の静電気を逃がしてください。
2. 静電気に敏感な部品を運ぶ場合、最初に必ず静電気対策を行ってください。
3. 静電気に敏感な機器の取り扱いには、静電気のない場所で行います。可能であれば、静電気防止床パッド、作業台パッド、および帯電防止接地ストラップを使用してください。

## 電源の異常

万一停電などの電源異常が発生した場合は、必ず本スイッチの電源プラグを抜いてください。電源が再度供給できる状態になってから電源プラグを再度接続します。

## 1. お使いになるまえに

---

このたびは、弊社製品をお買い上げいただきありがとうございます。

本書は、製品を正しくお使いいただくための取扱説明書です。

必要な場合には、いつでもご覧いただけますよう大切に保管してください。

また、必ず本書、設置マニュアル、および弊社 WEB に掲載された製品保証規程をよくお読みいただき、内容をご理解いただいた上で、記載事項に従ってご使用ください。

製品保証規定は以下を参照ください。

<http://www.dlink-jp.com/support/product-assurance-provision>

◎ 本書の記載内容に逸脱した使用の結果発生した、いかなる障害や損害において、弊社は一切の責任を負いません。あらかじめご了承ください。

◎ 弊社製品の日本国外でご使用の際のトラブルはサポート対象外になります。

なお、本製品の最新情報やファームウェアなどを弊社ホームページにてご提供させていただく場合がありますので、ご使用前にご確認ください。

製品保証、保守サービス、テクニカルサポートご利用について、詳しくは弊社ホームページのサポート情報をご確認ください。

<http://www.dlink-jp.com/support>

---

# 設置のしかた

# 2

本製品の各部名称や、設置する際の準備・方法について説明します。  
設置を行う際にお読みください。

■ パッケージの内容.....	12
■ 動作環境 .....	12
■ 設置についてのご注意 .....	12
■ 本体各部名称.....	13
本体及びケーブルコネクタ.....	13
■ 製品の設置/角度の調整.....	14
オプション取付キットを使用せずに設置する場合 .....	14
オプション取付キット (DCS-37-1) を使用して設置する場合 .....	15
オプション取付キット (DCS-37-2) を使用して設置する場合 .....	17
オプション取付キット (DCS-37-3) を使用して設置する場合 .....	18
防水コネクタの取り付け .....	19
■ インストールウィザード.....	21

## パッケージの内容

---

本製品には、以下のものが同梱されています。

- 本体
- CD-ROM
- マニュアル
- マウント用ネジ
- LAN ポート用防水コネクタ
- 電源コネクタプラグ
- シリアルラベル

不足しているものや損傷を受けているものがありましたら、ご購入頂いた販売代理店までご連絡ください。

## 動作環境

---

本製品の動作には、以下の環境が必要です。

- 以下のブラウザをサポートしているコンピュータ
  - Microsoft Internet Explorer 9 以降
  - Apple Safari 6 以降
- イーサネットへの接続

## 設置についてのご注意

---

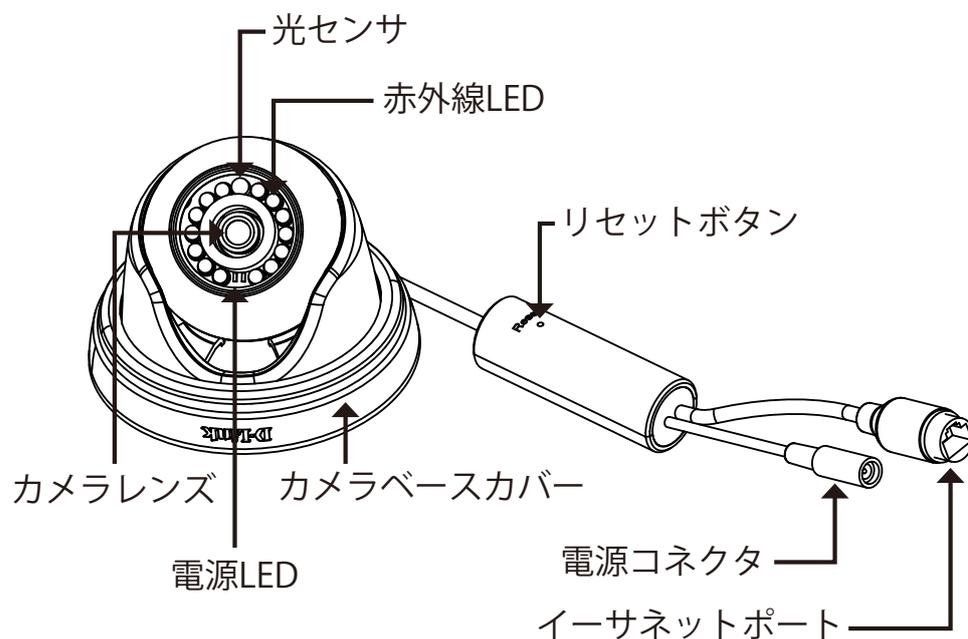
製品を設置する前に以下の注意事項をご確認ください。

- ◎ 製品は動作環境範囲内の温度と湿度を保つことができる、なるべく涼しくて乾燥した場所に設置してください。

## 本体各部名称

本製品の各部名称について説明します。

### ■本体及びケーブルコネクタ



名称	説明
カメラレンズ	撮影を行います。
光センサ	照明条件を検出します。
赤外線LED	赤外線LEDです。夜間など撮影環境の照度が低い場合に使用します。
リセットボタン	設定を工場出荷時状態に戻すときに使用します。
電源 / ステータスLED	電源および通信状態を示します。 <ul style="list-style-type: none"> <li>・消灯: 電源が入っていません。</li> <li>・赤色に点灯: 電源が入っていますが、ネットワークに接続していません。</li> <li>・緑色に点灯: 電源が入っていて、ネットワークに接続しています。</li> <li>・緑色に点滅: 電源が入っていて通信中です。</li> </ul>
電源コネクタ	電源ケーブルを接続します。
イーサネットポート	イーサネットケーブルを接続します。(PoE接続)

### メモ

- Web GUIの[MAINTENANCE]>[Admin]のLEDセクションで、LED表示をOffに設定した場合は、電源が入っていてもLEDは点灯しません。
- ACアダプタは同梱されていません。PoEでご利用ください。

## 製品の設置/角度の調整

本製品の設置方法について説明します。

オプション取付キットを使用せずに設置する方法と、オプション取付キット (DCS-37-1、DCS-37-2、DCS-37-3) を使用して設置する方法があります。

設置を行う前に本製品の設定を行うことをおすすめします。

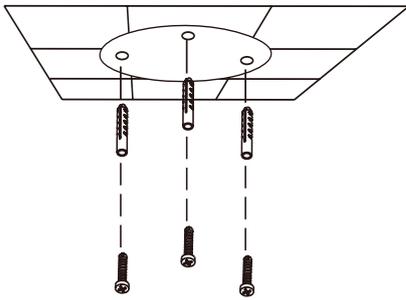
### ■オプション取付キットを使用せずに設置する場合

1. カメラを取り付けたい場所にマウントステッカーを貼ります。

#### ⚠注意

- ・マウントステッカーが正しい方向になっていることを確認してください。
- ・カメラを設置した際に、必要なケーブルを接続する十分なスペースがあることを確認してください。

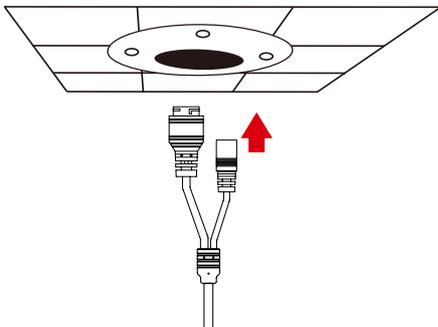
2. ステッカーの位置に合わせて深さ約 25mm の穴をあけ、あけた穴にプラスチックアンカーを挿入してください。



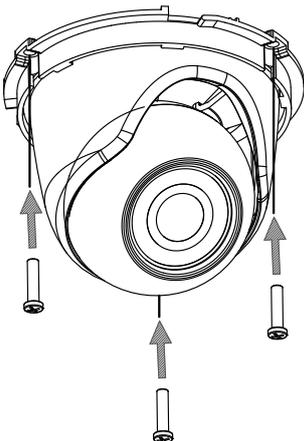
#### ⚠注意

- ・穴をあける際は、取り付ける場所の材質に応じて、適切な器具を使用してください。

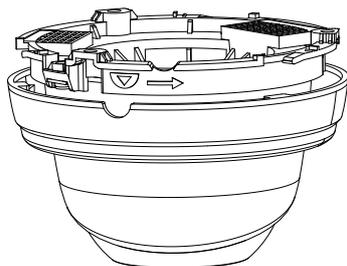
3. 壁や天井にカメラのケーブルを通す場合は、ステッカーの真ん中の位置にも穴をあけます。



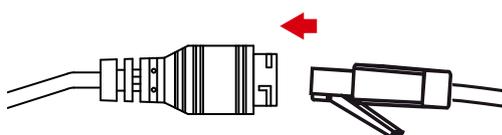
4. カメラベースカバーを反時計周りに回し、取り外します。
5. 同梱のネジを使用し、カメラを壁に取り付けます。カメラのケーブルを壁や天井に通さない場合、カメラ基底部の溝にはめるようにしてケーブルを外部に出します。



6. カメラ基底部のマークにカメラベースカバーのケーブル用の溝の位置を合わせ、カバーを時計回りに回して元に戻します。



7. 本製品の LAN ポートに UTP ケーブルの一端を接続し、UTP ケーブルの另一端を、PoE 給電機器の給電ポートに接続します。



#### メモ

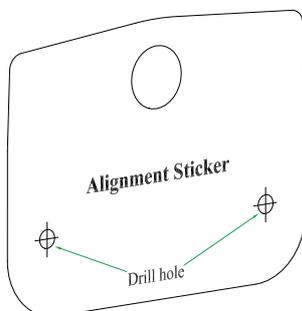
- ・ ACアダプタは同梱されていません。PoEでご利用ください。

## ■オプション取付キット (DCS-37-1) を使用して設置する場合

1. カメラを取り付けたい場所に DCS-37-1 のステッカーを貼ります。

### ⚠注意

- ・ マウントステッカーが正しい方向になっていることを確認してください。
- ・ カメラを設置した際に、必要なケーブルを接続する十分なスペースがあることを確認してください。

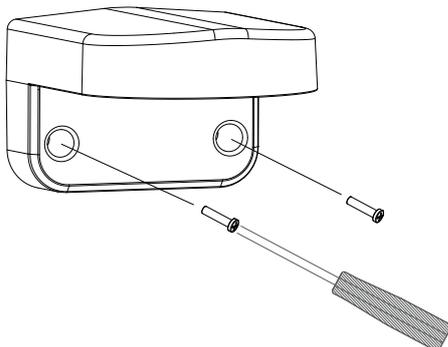


2. ステッカーの位置に合わせて深さ約 25mm の穴をあけ、あけた穴にプラスチックアンカーを挿入してください。ケーブルを壁に通す場合は、ケーブルを通す位置にも穴をあける必要があります。

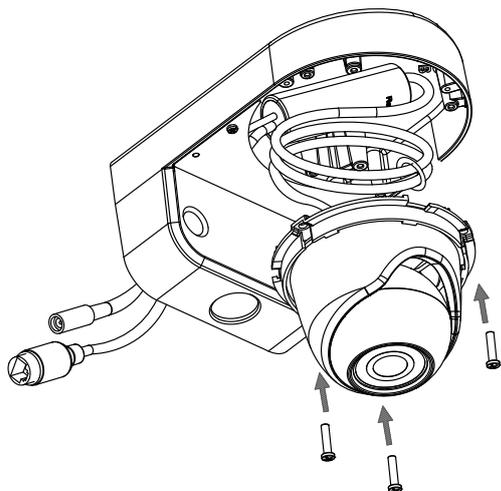
### ⚠注意

- ・ 穴をあける際は、取り付ける場所の材質に応じて、適切な器具を使用してください。

3. 同梱のネジを使用し、DCS-37-1 を壁に取り付けます。



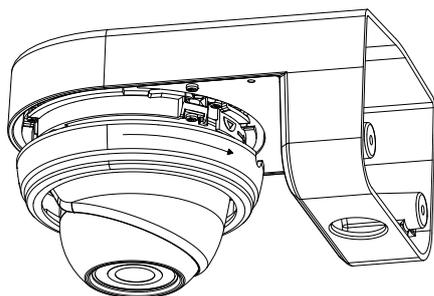
4. カメラベースカバーを反時計周りに回し、取り外します。
5. DCS-37-1 の背部または下部にあけられた穴に、カメラのコネクタを通します。B と書かれているネジ穴に同梱のネジを差し込み、DCS-37-1 にカメラ本体を取り付けます。



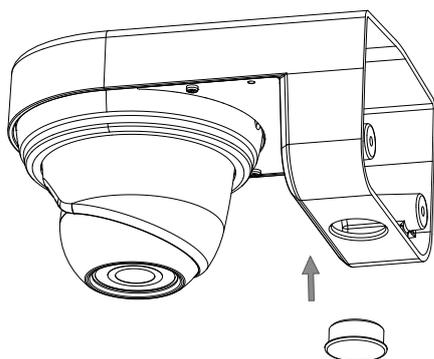
メモ

- ・カメラ内側のカバーの開口部が撮影エリアの方向を向くように、カメラ本体を配置します。カメラの向きは後から調整することも可能です。

6. カメラの角度と回転を調整した後、カバーを元に戻します。



7. カメラのケーブルを壁に通す場合は、下部のケーブル用の穴にゴムストッパーを装着します。

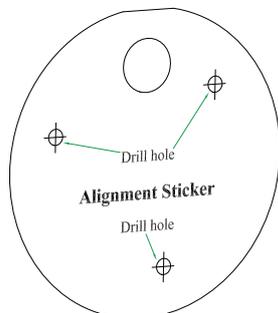


## ■オプション取付キット (DCS-37-2) を使用して設置する場合

1. カメラを取り付けたい場所に DCS-37-2 のステッカーを貼ります。

### ⚠注意

- ・マウントステッカーが正しい方向になっていることを確認してください。
- ・カメラを設置した際に、必要なケーブルを接続する十分なスペースがあることを確認してください。

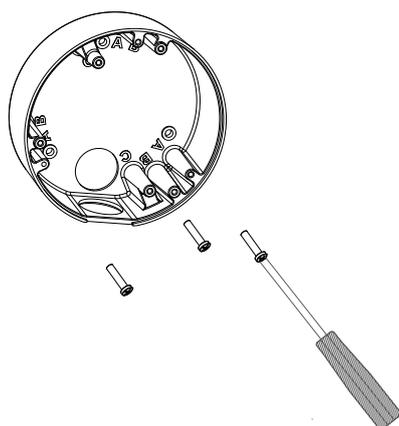


2. ステッカーの位置に合わせて深さ約 25mm の穴をあけ、あけた穴にプラスチックアンカーを挿入してください。ケーブルを壁に通す場合は、ケーブルを通す位置にも穴をあける必要があります。

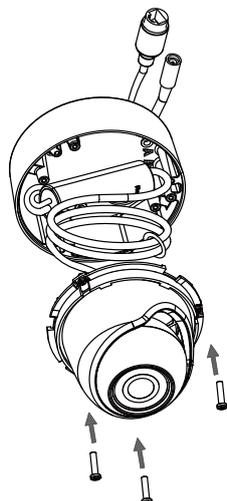
### ⚠注意

- ・穴をあける際は、取り付ける場所の材質に応じて、適切な器具を使用してください。

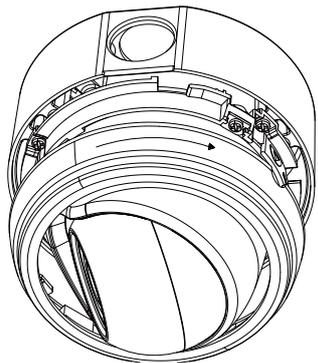
3. 内側のネジ穴に同梱のネジを差し込み、DCS-37-2 を壁に取り付けます。



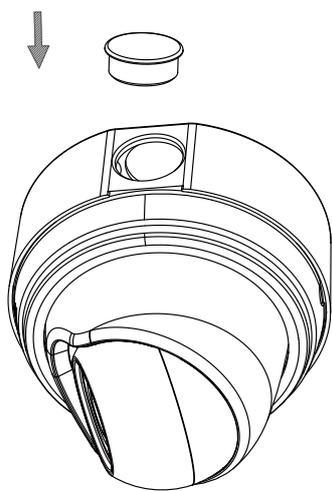
4. カメラベースカバーを反時計周りに回し、取り外します。
5. DCS-37-2 の背部または側面の穴に、カメラのコネクタを通します。A と書かれているネジ穴に同梱のネジを差し込み、DCS-37-2 にカメラ本体を取り付けます。



6. カメラの角度と回転を調整した後、カバーを元に戻します。



7. カメラのケーブルを壁に通す場合は、側面のケーブル用の穴にゴムストッパーを装着します。

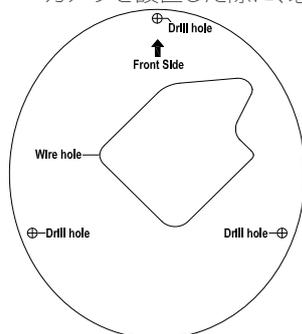


## ■オプション取付キット (DCS-37-3) を使用して設置する場合

1. カメラを取り付けたい場所に DCS-37-3 のステッカーを貼ります。

### ⚠注意

- ・マウントステッカーが正しい方向になっていることを確認してください。
- ・カメラを設置した際に、必要なケーブルを接続する十分なスペースがあることを確認してください。

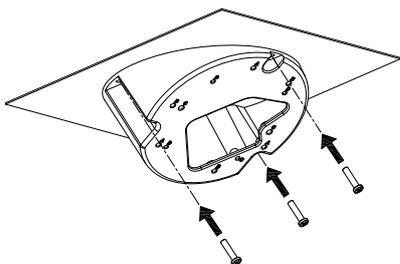


2. ステッカーの位置に合わせて深さ約 25mm の穴をあけ、あけた穴にプラスチックアンカーを挿入してください。ケーブルを壁に通す場合は、ケーブルを通す位置にも穴をあける必要があります。

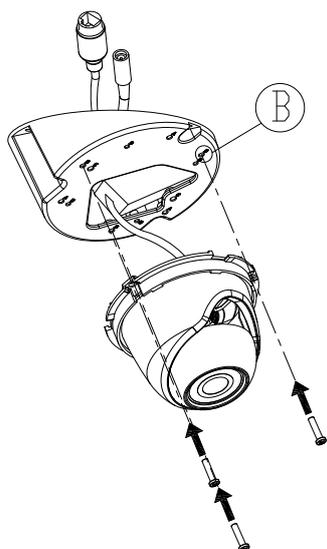
### ⚠注意

- ・穴をあける際は、取り付ける場所の材質に応じて、適切な器具を使用してください。

3. 内側のネジ穴に同梱のネジを差し込み、DCS-37-3 を壁に取り付けます。



4. カメラベースカバーを反時計周りに回し、取り外します。
5. DCS-37-3 の中心の穴に、カメラのコネクタを通します。B と書かれているネジ穴に同梱のネジを差し込み、DCS-37-3 にカメラ本体を取り付けます。



#### メモ

- ・カメラ内側のカバーの開口部が撮影エリアの方向を向くように、カメラ本体を配置します。カメラの向きは後から調整することも可能です。

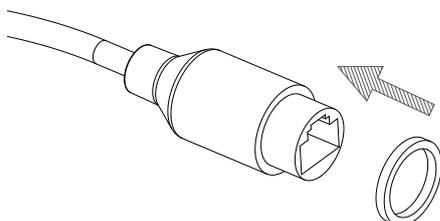
6. カメラの角度と回転を調整します。
7. カメラカバーを元に戻します。

### ■防水コネクタの取り付け

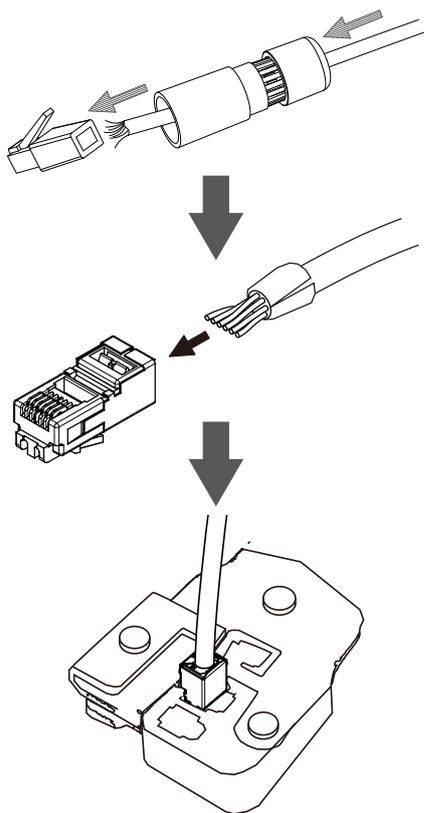
防水コネクタを取り付ける場合、以下の準備が必要となります。

- ・丸型イーサネットケーブル
- ・圧着器具
- ・RJ-45プラグ

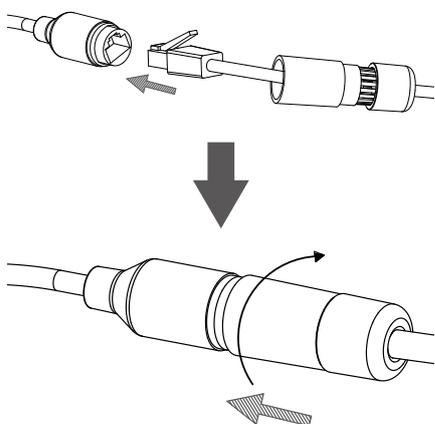
1. 本製品のイーサネットコネクタの基底部分にワッシャーを取り付けます。



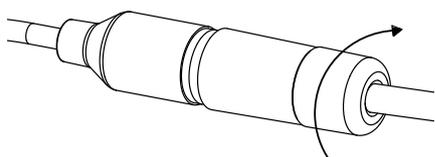
2. 先端の被覆を取り外したイーサネットケーブルを同梱の防水コネクタに通し、RJ-45 プラグを圧着します。



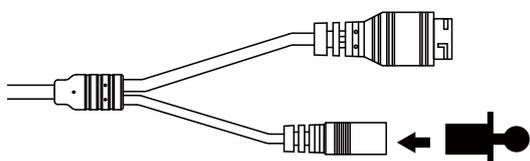
3. 本製品のイーサネットコネクタに RJ-45 プラグを接続し、防水コネクタを時計回りに半回転してイーサネットコネクタに固定します。



4. 防水コネクタの後方部分を時計回りに回して固定します。



5. PoE を使用している場合、電源コネクタに電源コネクタプラグを装着します。



メモ

・ ACアダプタは同梱されていません。PoEでご利用ください。

## インストールウィザード

同梱されたCDのインストールウィザードを利用して設定を行うことができます。

1. CD-ROMをお使いのPCに挿入します。
2. [Setup Wizard]をクリックし、画面の表示にしたがってインストールを行ってください。



3. インストールが完了すると、Setup Wizardが起動します。Setup Wizard画面には、接続されているカメラのMACアドレスとIPアドレスが表示されます。DHCPサーバを使用していない場合、カメラの既定の固定IPアドレスは192.168.0.20です。カメラを選択し、[Wizard]ボタンをクリックします。



### メモ

- Setup Wizard画面を閉じてしまった場合は、Windowsのスタートメニューから、[Start] > [D-Link] > [Setup Wizard SE]をクリックします。

4. 管理者 ID とパスワードを入力します。初回ログイン時の既定値は、ID が「admin」、パスワードはなしです。ID とパスワードを変更したい場合は、[Change] のチェックボックスにチェックを入れ、新しい ID とパスワードを入力してください。入力完了後、[Next] をクリックします。

The screenshot shows the 'Set up an Admin ID and Password to secure your camera.' screen. It includes fields for 'Admin ID' and 'Password', and a section for changing them with 'New ID', 'New Password', and 'Reconfirm' fields. Navigation buttons 'Back', 'Next', and 'Exit' are at the bottom.

5. DHCP サーバから IP アドレスを取得する場合は [DHCP]、手動で IP アドレスを設定する場合は [Static IP] を選択します。設定完了後、[Next] をクリックします。

The screenshot shows the 'Set IP Address' screen. It has radio buttons for 'DHCP' (selected) and 'Static IP'. Below are input fields for 'IP Address', 'Subnet Mask', 'Default Gateway', 'Primary DNS', and 'Secondary DNS'. Navigation buttons 'Back', 'Next', and 'Exit' are at the bottom.

6. 設定を確認し、[Restart] をクリックします。

The screenshot shows the final configuration summary screen. It lists the configured values: Admin ID (admin), Password (empty), IP Address (192.168.0.102), Subnet Mask (255.255.255.0), Primary DNS (192.168.0.1), and Secondary DNS (192.168.0.1). A message at the bottom says: 'The Setup Wizard has completed. Click on 'Back' to modify your settings. Click 'Restart' to save your current settings and reboot the Internet Camera.' Navigation buttons 'Back' and 'Restart' are at the bottom.

**重要**

インストールウィザードでは、本製品のIPアドレスおよびユーザ名、アカウントの設定も行います。Web GUIにアクセスするため、以下の情報をメモしておいてください。

- 本製品のIPアドレス
- ユーザ名
- パスワード

---

# WEB GUI 画面について 3

本製品は、WEB GUI画面から設定・操作を行うことができます。  
WEB GUI画面へのログイン方法と画面構成について説明します。

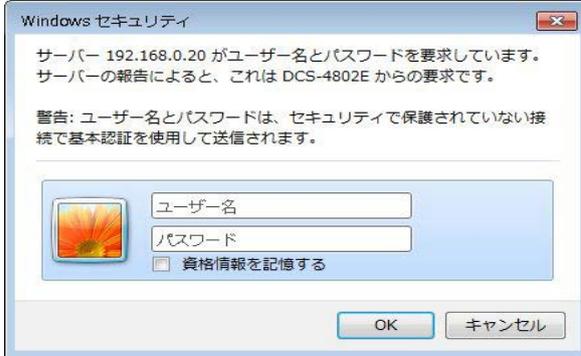
■ WEB GUI画面へのログイン .....	24
■ WEB GUI画面からのログアウト .....	24
■ Web GUI画面の構成 .....	25
LIVE VIDEO .....	25
SETUP .....	26
ADVANCED .....	26
MAINTENANCE .....	27
STATUS .....	27
HELP .....	28

## WEB GUI画面へのログイン

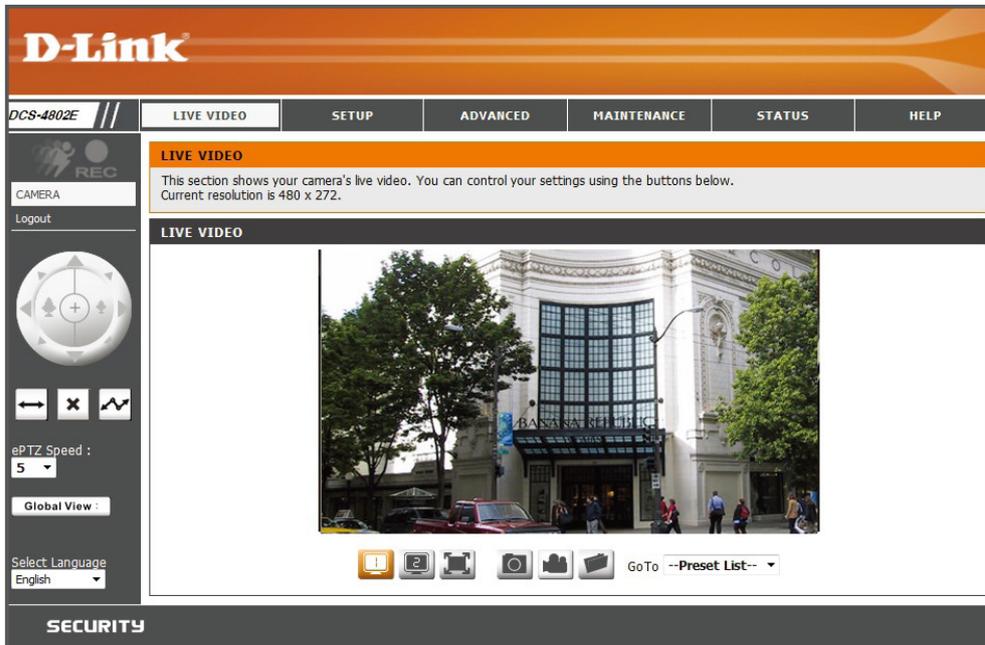
1. Web ブラウザを起動します。
2. Web ブラウザに本製品の IP アドレスを入力します。



3. ユーザ名とパスワードを入力します。



4. 以下の画面が表示されます。



### メモ

- 本製品のIPアドレス(初期値)は「192.168.0.20/24」です。
- IPアドレス・ユーザ名・パスワードはセットアップウィザードからも設定できます。
- Internet Explorer の使用時にLive Video画面が表示されない場合、プラグインのインストールが完了していない可能性があります。その場合、画面下に表示されるメッセージに従ってプラグインをインストールしてください。

## WEB GUI画面からのログアウト

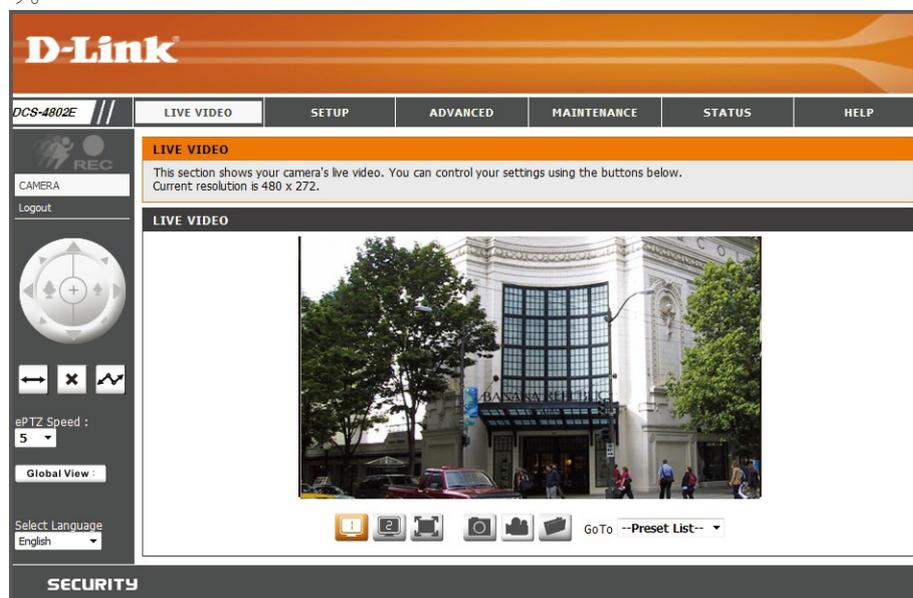
1. 画面左側のメニューにある [Logout] をクリックします。
2. 以下の画面で [Logout] をクリックします。



# Web GUI画面の構成

## LIVE VIDEO

Web GUIへのログイン後に表示される画面です。現在カメラがとらえている映像が表示されます。また、画面左側に表示されているアイコンを使用して、パン、チルト、ズーム(ePTZによるもののみ)などを行うことができます。



アイコン/UI	説明
	動体検知が行われているときに点灯します。
	録画が行われているときに点灯します。
	ePTZコントローラです。パン・チルト・ズーム(ePTZ機能によるもののみ)を行うことができます。 <ul style="list-style-type: none"> <li>三角マーク:パン(左右に動く)とチルト(上下に動く)を行います。</li> <li>木のマーク:ズームを行います。</li> <li>+マーク:初期設定の位置に戻します。</li> </ul>
	オートパンを行います。
	実行中のオートパンまたはプリセットシーケンスの動作を停止します。
	プリセットシーケンスを実行します。 設定したプリセットリストに従って撮影位置を変更します。『Preset:p.42』
ePTZ Speed	パン&チルト(上下左右に動く)を行う幅を指定します。数値が大きいほど広い角度でパン&チルトが行われます。
Global View	カメラの全体視野を表示します。現在Live View画面に表示されている対象領域は、赤い点線枠で示されます。
Select Language	Web GUIの表示言語を選択します。
	プロファイルを選択します。各プロファイルのフレームサイズなどの設定は、Video画面で行います。『Video:p.40』
	画像を全画面表示にします。全画面表示を解除するには、ダブルクリックまたはEscキーを押下します。
	スナップショットを作成します。
	録画を行います。録画を停止するには、もう一度アイコンをクリックします。画面を閉じると、録画は停止されます。
	ストレージフォルダを指定します。指定したフォルダにスナップショットや録画ファイルが保存されます。
Go To (Preset List)	設定されたプリセットリストを選択します。

### 注意

- ・本製品のパン・チルト・ズーム機能はePTZによるもののみに対応していますので、ご注意ください。

メモ

- パン & チルト機能は、ビデオプロファイルの設定で「Frame size」が「View window area」よりも大きく設定されている場合に使用することができます。これらの設定については『Video:p.40』を参照してください。
- プリセットシーケンスの設定については『Preset:p.42』を参照してください。

## SETUP

ネットワーク設定やプロファイル設定など、カメラの機能の基本的な設定を行います。  
『Set Up (基本設定):p.29』

The screenshot shows the 'SETUP' page for the DCS-4802E camera. The main content area is divided into two sections: 'INTERNET CONNECTION SETTINGS' and 'IP CAMERA MOTION DETECTION SETTINGS'. Each section contains a brief description, a 'Setup Wizard' button, and a 'Manual Setup' button. To the right, there is a 'Helpful Hints..' section with two paragraphs of text providing advice for advanced users.

## ADVANCED

ICR(IR Cut Removable)機能、アクセスリストによるセキュリティの設定など、カメラの詳細設定を行います。  
『Advanced (詳細設定):p.52』

The screenshot shows the 'ADVANCED' page for the DCS-4802E camera, specifically the 'ICR AND IR' settings. The 'ICR AND IR' section includes a description of the ICR filter, instructions for selecting Day/Night mode, and a 'Light Sensor Sensitivity' section. Below this is the 'ICR' section with radio buttons for 'Automatic' and 'Day mode', a 'Sensitivity' dropdown menu, and a 'Refresh' button. To the right, the 'Helpful Hints..' section provides detailed explanations for 'Automatic', 'Day mode', 'Night mode', and 'Schedule mode'.

## MAINTENANCE

ユーザアカウントの設定やファームウェアアップグレードなど、製品のメンテナンスを行います。  
『Maintenance(メンテナンス):p.57』

**D-Link**

DCS-4802E // LIVE VIDEO SETUP ADVANCED MAINTENANCE STATUS HELP

Admin  
System  
Firmware Upgrade  
Logout

**ADMIN**

Here you can change the administrator's password for your IP camera as well as add and/or delete user account(s). You can configure the information, such as IP camera's name and time via this page. You can also enable the OSD (On-Screen Display) feature in order to display the IP camera name and time stamp for your video recordings.

**ADMIN PASSWORD SETTING**

New Password  32 characters maximum  
Retype Password

**ADD USER ACCOUNT**

User Name  20 users maximum  
New Password  32 characters maximum  
Retype Password

**USER LIST**

User Name

**DEVICE SETTING**

IP Camera Name  63 characters maximum  
 Enable OSD  
Label  30 characters maximum  
Show Time

**LED**

LED  On  Off

**Helpful Hints..**

Enabling OSD, the IP camera name and time will be displayed on the video screen for the user.

For security purposes, it is recommended that you change the password for your administrator account. Be sure to write down the new password to avoid having to reset the IP camera in the event that it is forgotten.

**LED:** In the rear panel of your camera there is a LED beside the network adapter. ON: The LED will flash a light to indicate if the network is working or not. OFF: No light will show, forth option is turn off.

## STATUS

デバイス情報およびログの表示を行います。  
『Status(ステータス):p.62』

**D-Link**

DCS-4802E // LIVE VIDEO SETUP ADVANCED MAINTENANCE STATUS HELP

Device Info  
Log  
Logout

**DEVICE INFO**

All of your network connection details are displayed on this page. The firmware version is also displayed here.

**INFORMATION**

IP Camera Name	DCS-4802E
Time & Date	Tue Mar 14 06:20:19 2017
Firmware Version	1.00.06
Hardware Version	A
MAC Address	B0:C5:54:39:7A:DE
IP Address	192.168.0.20
IP Subnet Mask	255.255.255.0
Default Gateway	192.168.0.1
Primary DNS	0.0.0.0
Secondary DNS	0.0.0.0
PPPoE	Disable
DDNS	Disable

**Helpful Hints..**

This page displays all the information about the IP camera and network settings.

## HELP

Web GUI画面上部の[Help]をクリックすると、以下の画面が表示されます。  
確認したい項目をクリックし、説明を参照してください。

DCS-4802E		LIVE VIDEO	SETUP	ADVANCED	MAINTENANCE	STATUS	HELP
Help		<b>HELP</b> <ul style="list-style-type: none"><li>LIVE VIDEO</li><li>SETUP</li><li>MAINTENANCE</li><li>ADVANCED</li><li>STATUS</li></ul>					
Logout		<b>LIVE VIDEO</b> <ul style="list-style-type: none"><li>Camera</li></ul>					
		<b>SETUP</b> <ul style="list-style-type: none"><li>Setup Wizard</li><li>Network Setup</li><li>Dynamic DNS</li><li>Image Setup</li><li>Audio and Video</li><li>Preset</li><li>Motion Detection</li><li>Time and Date</li><li>Event Setup</li></ul>					
		<b>ADVANCED</b> <ul style="list-style-type: none"><li>ICR and IR</li><li>HTTPS</li><li>Access List</li><li>SNMP</li></ul>					
		<b>MAINTENANCE</b> <ul style="list-style-type: none"><li>Admin</li><li>System</li><li>Firmware Upgrade</li></ul>					
		<b>STATUS</b> <ul style="list-style-type: none"><li>Device Info</li><li>Log</li></ul>					

---

# Set Up (基本設定)

ネットワーク設定やプロファイルの設定、動体検知設定など、カメラの機能設定を行います。

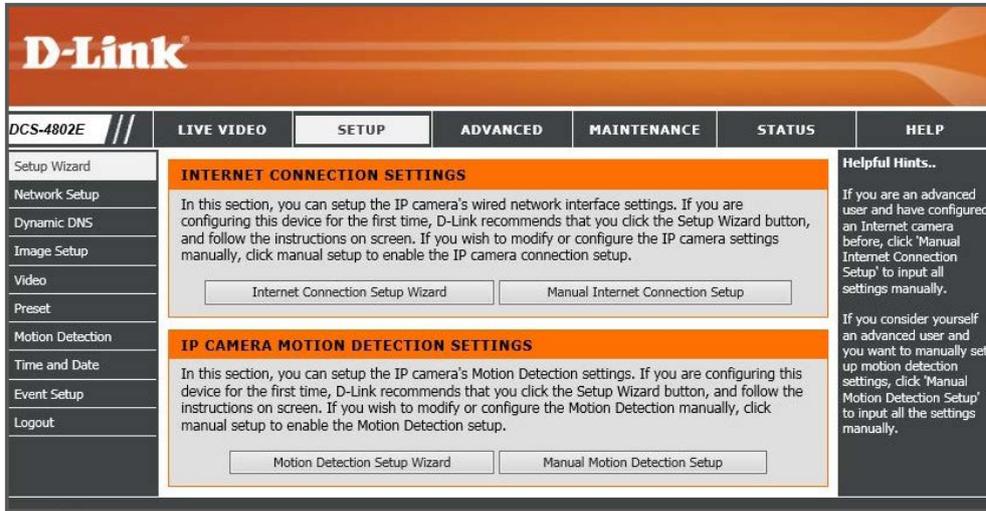
# 4

■ Setup Wizard .....	30
インターネット接続設定 .....	30
IPカメラ動体検知設定 .....	32
■ Network Setup .....	34
LAN設定 .....	35
PPPoE設定 .....	35
HTTP設定 .....	35
HTTPS設定 .....	36
RTSP設定 .....	36
CoS設定 .....	36
QoS設定 .....	36
IPv6設定 .....	37
Multicast設定 .....	37
Bonjour設定 .....	37
■ Dynamic DNS .....	38
■ Image Setup .....	39
■ Video .....	40
■ Preset .....	42
■ Motion Detection .....	44
■ Time and Date .....	45
■ Event Setup .....	46
SERVER(サーバ): .....	46
MEDIA(メディア): .....	46
EVENT(イベント): .....	46
RECORDING(録画): .....	46
SERVER .....	47
MEDIA .....	48
EVENT .....	49
RECORDING .....	51

# Setup Wizard

[SETUP] > [Setup Wizard]

インターネット接続設定と動体検知設定を行います。ウィザードによる設定または手動設定を選択することができます。最初に設定を行う場合は、ウィザードの使用をおすすめします。



## ■ インターネット接続設定

### ◆ ウィザードで設定を行う場合

1. [Internet Connection Setup Wizard] をクリックします。
2. [Next] をクリックします。



3. LAN の設定を行った後、[Next] をクリックします。



- DHCP : DHCPサーバを使用してIPアドレスを自動的に割り当てます。
- Static IP Client : 固定のIPアドレスを設定します。
- Enable PPPoE : PPPoEを有効にします。有効にした場合はユーザ名とパスワードを入力します。

## 4. ダイナミック DNS の設定を行った後、[Next] をクリックします。

**Step 2: Setup DDNS Settings**

If you have a Dynamic DNS account and would like the IP camera to update your IP address automatically, enable DDNS and enter in your host information below. Please click on the Next button to continue.

Enable DDNS

Server Address  <<

Host Name

User Name

Password

Verify Password

Timeout  (hours)

- Enable DDNS: ダイナミックDNSを有効にします。有効にした場合は以下の項目を入力します。
- Server Address: サーバ名を入力します。
- Host Name: ホスト名を入力します。
- User Name: ユーザ名を入力します。
- Password: パスワードを入力します。
- Verify Password: 確認のため再度パスワードを入力します。
- Timeout: タイムアウトする時間を入力します。

## 5. IP カメラの名称を設定した後、[Next] をクリックします。

**Step 3: IP camera Name Settings**

D-Link recommends that you rename your IP camera for easy accessibility. You can then identify and connect to your IP camera via this name. Please assign a name of your choice before clicking on the Next button.

IP camera Name

## 6. タイムゾーンの設定を行った後、[Next] をクリックします。

**Step 4: Setup Time Zone**

Please configure the correct time to ensure that all events are triggered, captured and scheduled at the correct time and day and then click on the Next button.

Time Zone

Enable Daylight Saving

- Time Zone: タイムゾーンを選択します。
- Enable Daylight Saving: サマータイムを有効にします。

## 7. 設定内容を確認 → [Apply] をクリックし、設定を適用します。

**Step 5: Setup complete**

Below is a summary of your IP camera settings. Click on the Back button to review or modify settings or click on the Apply button if all settings are correct. It is recommended to note down these settings in order to access your IP camera on the network or via your web browser.

IP Address	DHCP
IP camera Name	DCS-4802E
Time Zone	(UTC+09:00) Osaka, Sapporo, Tokyo
DDNS	Disable
PPPoE	Disable

## ◆ 手動で設定を行う場合

[Manual Internet Connection Setup]をクリック → Network Setup画面で設定を行います。

メモ

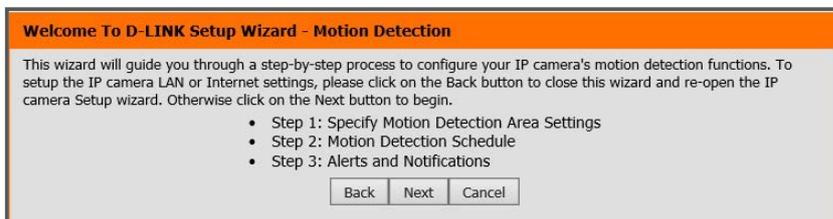
Network Setup画面の設定内容については、『[Network Setup:p.34](#)』を参照してください。

## ■ IPカメラ動体検知設定

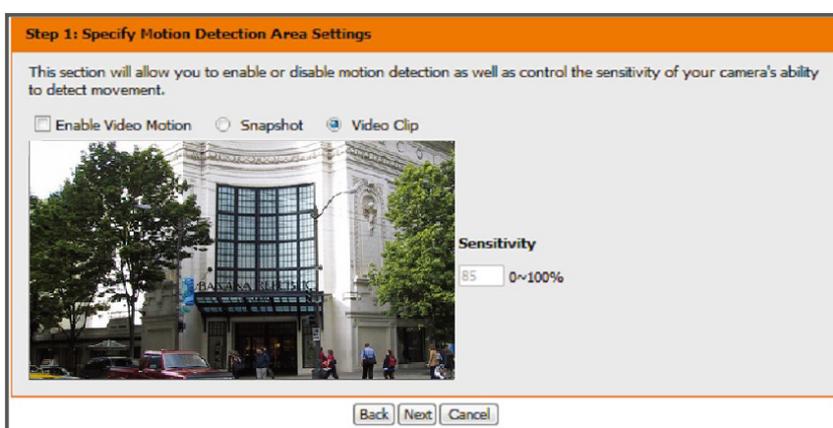
### ◆ ウィザードで設定を行う場合

[Motion Detection Setup Wizard]をクリックし、画面の説明にしがいます。

1. [Motion Detection Setup Wizard] をクリックします。
2. [Next] をクリックします。



3. 動体検知の有効 / 無効と検知の感度を設定→ [Next] をクリックします。

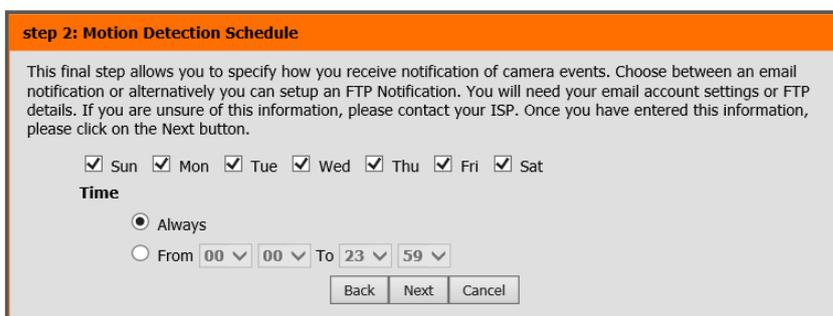


- Enable Video Motion : 動体検知を有効にします。
- Snapshot : スナップショットを作成します。
- Video Clip : ビデオクリップを作成します。
- Sensitivity : 動体検知の感度を設定します。数値が大きいくほど感度がよくなり、動体が検知されやすくなります。

### メモ

動体検知を有効にした場合は、画像内で動体検知を行うエリアを選択してください。左クリックしながらマウスを移動させると、エリアを選択できます。画像内でマウスを右クリックすると、[Select All][Clear All][Restore]の動作を選択できます。

4. 動体検知を行うスケジュール設定→ [Next] をクリックします。



## 5. 通知の設定を行った後、[Next] をクリックします。

- Do not notify me : 通知を行いません。
- Email: E-Mailによる通知を行います。
- FTP: FTPサーバによる通知を行います。

## 6. 設定内容を確認→ [Apply] をクリックし、設定を適用します。

## 7. 設定の保存と再起動が行われます。

## ◆ 手動で設定を行う場合

[Manual Motion Detection Setup]をクリック → Motion Detection画面で設定を行います。

メモ

Motion Detection画面の設定内容については、『Motion Detection:p.44』を参照してください。

# Network Setup

[\[SETUP\] > \[Network Setup\]](#)

本製品のIPアドレスなど、ネットワークの設定を行います。  
設定が完了したら[Save Settings]をクリックして設定を保存してください。

D-Link

DCS-4802E
LIVE VIDEO
SETUP
ADVANCED
MAINTENANCE
STATUS
HELP

- Setup Wizard
- Network Setup
- Dynamic DNS
- Image Setup
- Video
- Preset
- Motion Detection
- Time and Date
- Event Setup
- Logout

NETWORK SETUP

You can configure your LAN and Internet settings here.

LAN SETTINGS

DHCP

Static IP Client

IP address:

Subnet mask:

Default router:

Primary DNS:

Secondary DNS:

Enable UPnP presentation

Enable UPnP port forwarding

Forwarding Port:

Forwarding Status: UPnP forwarding is inactive

PPPOE SETTINGS

Enable  Disable

User Name:

Password:

Confirm password:

PPPoE Status: PPPoE is inactive.

HTTP

HTTP port:

Access name for stream1:

Access name for stream2:

HTTPS

HTTPS port:

RTSP

Authentication:

RTSP port:

Access name for stream1:

Access name for stream2:

COS SETTINGS

Enable CoS

VLAN ID:  [0~4095]

Live video:

Live audio:

Event/Alarm:

Management:

QOS SETTINGS

Enable QoS

Live video:

Live audio:

Event/Alarm:

Management:

IPv6

Enable IPv6

Manually setup the IP address

Optional IP address / Prefix length:  /

Optional default router:

Optional primary DNS:

MULTICAST

Enable multicast for stream 1

Multicast group address:

Multicast video port:

Multicast RTCP video port:

Multicast audio port:

Multicast RTCP audio port:

Multicast TTL [1~255]:

Enable multicast for stream 2

Multicast group address:

Multicast video port:

Multicast RTCP video port:

Multicast audio port:

Multicast RTCP audio port:

Multicast TTL [1~255]:

BONJOUR SETTINGS

Enable Bonjour

Bonjour Name:  32 characters maximum

(Characters you may use in a Bonjour Name: "upper or lower case letters", "numbers" and "hyphens".)

Helpful Hints...

Select 'DHCP Connection' if you are running a DHCP server on your network and would like an IP address assigned to your IP camera automatically.

**UPnP:** Enabling UPnP settings will allow you to configure your IP camera as an UPnP device in the network.

**PPPoE Setting:** If you use the IP camera to connect directly to the Internet, you will need to enter the username and password, which were given to you when you set up your account with your Internet Service Provider. If the camera is behind a router or a gateway, you do not need to configure this setting.

**HTTP:** HTTP Port is the port you allocate in order to connect to the IP camera via a standard web browser.

**HTTPS:** HTTPS Port in a IP camera connects it with a PC via a secure web browser.

**RTSP:** RTSP Port is the port you allocate in order to connect to a IP camera by using streaming mobile device (e), such as a mobile phone or PDA.

**CoS (Class of Service):** Coarsely-grained traffic control based on the L2 protocol. Class of Service technologies do not guarantee a level of service in terms of bandwidth and delivery time, they offer a "best-effort".

**QoS (Quality of Service):** Finely-grained traffic control, a resource reservation control mechanism. Quality of service guarantees are important if the network capacity is insufficient, especially for real-time streaming multimedia applications.

**Enable IPv6:** Select this option and click Save to enable IPv6 setting. Please note that this only works if your network environment and hardware equipment support IPv6. The browser should be Microsoft® Internet Explorer 6.5, Mozilla Firefox 3.0 or above. When IPv6 is enabled, by default, the Network Camera will listen to router advertisements and be assigned a link-local IPv6 address accordingly.

**IPv6 Information:** Click this button to obtain the IPv6 information. If your IPv6 setting are successful, the IPv6 address list will be listed in the pop-up window. Please follow the steps below to link to an IPv6 address:  
1) Open your web browser.  
2) Enter the link-global or link-local IPv6 address in the address bar of your web browser.  
3) Press Enter on the keyboard or click Refresh button to refresh the webpage.

**Manually setup the IP address:** Select this option to manually configure IPv6 setting if your network environment does not have DHCPv6 server and advertisements-enabled routers.

**Multicast:** Click the items to display the detailed configuration information. Select the Always multicast option to enable multicast for stream 1 ~ 3. Unicast video transmission delivers a stream through point-to-point transmission; multicast, on the other hand, sends a stream to the multicast group address and allows multiple clients to acquire the stream at the same time by requesting a copy from the multicast group address. Therefore, enabling multicast can effectively save network bandwidth.

**Multicast RTP video, audio port/Multicast**

## ● LAN設定

**LAN SETTINGS**

DHCP  
 Static IP Client

IP address: 172.16.1.75  
Subnet mask: 255.255.255.0  
Default router: 172.16.1.1  
Primary DNS: 172.16.1.2  
Secondary DNS: 172.16.1.3

Enable UPnP presentation  
 Enable UPnP port forwarding

Forwarding Port: 1024 [Test]  
Forwarding Status: UPnP forwarding is inactive

◆ DHCP	DHCPサーバを使用してIPアドレスを自動的に割り当てます。
◆ Static IP Client	<p>固定のIPアドレスを割り当てます。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>• [IP address]: IPアドレスを入力します。</li> <li>• [Subnet mask]: サブネットマスクを入力します。</li> <li>• [Default router]: デフォルトルータIPアドレスを入力します。</li> <li>• [Primary DNS]: プライマリDNSサーバを入力します。</li> <li>• [Secondary DNS]: セカンダリDNSサーバを入力します。</li> </ul>
◆ Enable UPnP presentation	有効にすると、本製品がUPnPデバイスとして機能します。
◆ Enable UPnP port forwarding	<p>UPnPポートフォワーディングを有効にします。</p> <p>有効にした場合はポート番号を入力します。[Test]をクリックするとテストを実行します。本製品がUPnP対応のネットワーク上で自動的にルータにポートフォワーディングエントリを追加することができます。</p>

## ● PPPoE設定

**PPPOE SETTINGS**

Enable  Disable

User Name:   
Password:   
Confirm password:   
PPPoE Status: PPPoE is inactive.

◆ Enable/Disable	<p>PPPoE設定を[Enable](有効)または[Disable](無効)にします。</p> <p>有効にした場合は以下の項目を入力します。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>• [User Name]: ユーザ名を入力します。</li> <li>• [Password]: パスワードを入力します。</li> <li>• [Confirm password]: 確認のため再度パスワードを入力します。</li> <li>• [PPPoE Status]: PPPoEのステータスが表示されます。</li> </ul>
------------------	---

## ● HTTP設定

**HTTP**

HTTP port: 80  
Access name for stream1: video1.mjpeg  
Access name for stream2: video2.mjpeg

◆ HTTP port	HTTPポート番号を設定します。(初期値:80)
◆ Access name for stream1-2	<p>ストリームのアクセス名を設定します。</p> <p>初期値は「video#.mjpeg」(#はストリームの番号)です。</p>

● HTTPS設定

HTTPS	
HTTPS port	<input type="text" value="443"/>

◆ **HTTPS port** HTTPSポート番号を設定します。(初期値:443)

● RTSP設定

RTSP	
Authentication	<input type="text" value="Digest"/>
RTSP port	<input type="text" value="554"/>
Access name for stream1	<input type="text" value="live1.sdp"/>
Access name for stream2	<input type="text" value="live2.sdp"/>

◆ **Authentication** 認証方法を選択または無効にします。  
 選択肢:  
 ・ [Digest] (ダイジェスト認証)  
 ・ [Disable] (無効)

◆ **RTSP port** RTSPポート番号を設定します。(初期値:554)

◆ **Access name for stream1-2** ストリームのアクセス名を設定します。  
 初期値は「live#.sdp」(#はストリームの番号)です。

● CoS設定

COS SETTINGS	
<input type="checkbox"/> Enable CoS	
VLAN ID	<input type="text" value="1"/> [0-4095]
Live video	<input type="text" value="0"/>
Live audio	<input type="text" value="0"/>
Event/Alarm	<input type="text" value="0"/>
Management	<input type="text" value="0"/>

◆ **Enable CoS** CoS (Class of Service) を有効にします。  
 ・ [VLAN ID]: VLAN IDを入力します。  
 ・ [Live video]: ライブビデオの優先度を設定します。  
 ・ [Live audio]: 音声の優先度を設定します。  
 ・ [Event/Alarm]: イベント/アラームの優先度を設定します。  
 ・ [Management]: マネジメントの優先度を設定します。

● QoS設定

QOS SETTINGS	
<input type="checkbox"/> Enable QoS	
Live video	<input type="text" value="0"/>
Live audio	<input type="text" value="0"/>
Event/Alarm	<input type="text" value="0"/>
Management	<input type="text" value="0"/>

◆ **Enable QoS** QoS (Quality of Service) を有効にします。  
 ・ [Live video]: ライブビデオの優先度を設定します。  
 ・ [Live audio]: 音声の優先度を設定します。  
 ・ [Event/Alarm]: イベント/アラームの優先度を設定します。  
 ・ [Management]: マネジメントの優先度を設定します。

## ● IPv6設定

◆ <b>Enable IPv6</b>	IPv6を有効にします。
◆ <b>IPv6 Information</b>	IPv6の情報を表示します。
◆ <b>Manually setup the IP address</b>	IPv6アドレスの手動設定を有効にします。有効にした場合は以下の項目を入力します。 <ul style="list-style-type: none"> <li>• [Optional IP address / Prefix length]</li> <li>• [Optional Default router]</li> <li>• [Optional primary DNS]</li> </ul>

## ● Multicast設定

◆ <b>Enable multicast for stream 1-2</b>	マルチキャストストリームを有効にします。有効にした場合は以下の項目を入力します。 <ul style="list-style-type: none"> <li>• [Multicast group address]</li> <li>• [Multicast video port]</li> <li>• [Multicast RTCP video port]</li> <li>• [Multicast TTL [1~255]]</li> </ul>
--	--

## ● Bonjour設定

◆ <b>Enable Bonjour</b>	Mac OSでの自動検出を有効にします。有効にした場合は以下の項目を入力します。 <ul style="list-style-type: none"> <li>• [Bonjour Name]</li> </ul>
-------------------------	---

# Dynamic DNS

[SETUP] > [Dynamic DNS]

ダイナミックDNS (Dynamic Domain Name Server) の設定を行います。  
ダイナミックDNSは、接続のたびに変わるIPアドレスとドメインを自動的に結びつける機能です。IPアドレスが変更されても、ドメイン名を入力してIPカメラに接続することができます。接続には設定したユーザ名とパスワードが必要となります。

設定が完了したら[Save Settings]をクリックして設定を保存してください。

## DYNAMIC DNS SETTING

◆ Enable DDNS	ダイナミックDNSを有効にします。
◆ Server Address	ダイナミックDNSプロバイダを選択するか、手動でサーバのアドレスを入力します。
◆ Host Name	ホスト名を入力します。
◆ User Name	ユーザ名を入力します。
◆ Password	パスワードを入力します。
◆ Verify Password	確認のため再度パスワードを入力します。
◆ Timeout	タイムアウトする時間を入力します。
◆ Status	ダイナミックDNSの状態が表示されます。

# Image Setup

[SETUP] > [Image Setup]

プライバシーマスク設定および画像設定を行います。  
 プライバシーマスクは、撮影したくないエリアを選択してマスクする機能です。画像設定では、ホワイトバランスや露出、鮮明度の設定を行い、画質の調整をすることができます。[IMAGE SETTINGS]欄で設定した内容はすぐに反映されます。

## PRIVACY MASK AREA OF VIDEO SETTING

- ◆ **Enable Privacy Mask Setting** プライバシーマスクを有効にします。有効にした場合は、画像上でマスクしたい部分を最大3箇所選択します。左クリックしながらマウスを移動させると、エリアを選択できます。画像内でマウスを右クリックすると、[Disable all][Enable all][Reset all]の動作を選択できます。設定後、[Save]をクリックして設定を保存します。

## IMAGE SETTING

- ◆ **Mirror** 画像を180度水平方向に回転させます。
- ◆ **Flip** 画像を180度垂直方向に回転させます。
- ◆ **Anti Flicker** 電源周波数 (50Hz/60Hz) による画像のちらつきを除去します。
- ◆ **White Balance** 撮影環境にあわせて色調の調節を行います。  
 [Auto](自動) / [Outdoor](屋外) / [Indoor](屋内) / [Fluorescent](蛍光灯)
- ◆ **Exposure Mode** 撮影環境に合わせた露出モードを以下から選択し、画像センサーに入る光量を調整します。  
 [Auto](自動) / [Outdoor](屋外) / [Indoor](屋内) / [Night](夜間) / [Moving](動体) / [Low\_noise](低ノイズ) / [Customize1-3](カスタマイズ1-3)  
 カスタマイズ設定を選択した場合は、シャッタースピードを設定します。
- ◆ **Max Gain** 最大ゲイン値を設定します。
- ◆ **Denoise** ノイズを軽減します。
- ◆ **Brightness** 明るさを調整し、逆光を補正します。
- ◆ **Contrast** 曇天下での画質を改善します。
- ◆ **Saturation** 色の彩度を調整します。
- ◆ **Sharpness** 画像の鮮明さを調整します。

◆ WDR Level	逆光など、明暗差の大きい映像を補正します。WDRレベルが大きいほど、暗い部分の視認性が高くなります。
◆ 3D filter	低照度の環境でノイズを低減します。

## Video

[SETUP] > [Video]

ビデオプロファイルの設定を行います。

設定したプロファイルはLive Video画面で選択・表示することができます。

本製品では2つのプロファイルを設定することができます。PCやスマートフォンなど、閲覧する環境に適したサイズを設定してください。

設定が完了したら[Save Settings]をクリックして設定を保存してください。

**D-Link**

DCS-4802E // LIVE VIDEO SETUP ADVANCED MAINTENANCE STATUS HELP

Setup Wizard  
Network Setup  
Dynamic DNS  
Image Setup  
Video  
Preset  
Motion Detection  
Time and Date  
Event Setup  
Logout

**VIDEO**

This section allows you to configure the sound and video of your camera. You can configure different settings depending on whether you are viewing content from a PC or a Mobile Phone / PDA.

Save Settings Don't Save Settings

**VIDEO SETTINGS**

Aspect ratio: 16:9 **Warning: Change the aspect ratio will clear the settings of privacy mask and preset and motion detection.**

Save Default

**VIDEO PROFILE 1**

Mode: H.264  
Frame size: 1280x720  
View window area: 1280x720  
Maximum frame rate: 30  
Video quality: Constant bit rate (2M) or Fixed quality (Excellent)

**VIDEO PROFILE 2**

Mode: H.264  
Frame size: 640x360  
View window area: 640x360  
Maximum frame rate: 15  
Video quality: Constant bit rate (512K) or Fixed quality (Excellent)

Save Settings Don't Save Settings

**Helpful Hints..**

Higher frame size, frame rate and bit rate gives better video quality. At the same time, it requires more network bandwidth.

For best viewing results on a mobile phone, we suggest setting the Frame Rate to 5fps and the Bit Rate to 64 kbps.

**Aspect Ratio:** An aspect ratio is the ratio between the width and height of an image.

**Mode:** It can be H.264 or JPEG. In JPEG mode, the video frames are independent; H.264 can use less bandwidth but better image quality.

**Frame Size:** 4 options exist for the sizes of the video display. It is recommended using 640x360 for mobile viewing and 1920x1080 for computer viewing.

**View window area:** The viewing region of the current video stream.

**Max frame rate:** The maximum number of frames that is displayed in 1 second. 30fps is the highest video quality for this camera. In general, any frame rate above 15 fps is imperceptible to the human eye.

**Video Quality:** This limits the maximal refresh frame rate, which

### メモ

[Frame size]の縦横比は以下のとおりです。

- 16:9  
1920 x 1080, 1280 x 720, 800 x 448, 640 x 360
- 4:3  
1440 x 1080, 1280 x 960, 1024 x 768, 800 x 592, 640 x 480

VIDEO SETTINGS	
◆ Aspect ratio	画面アスペクト比を[16:9]または[4:3]から選択し、[Save]をクリックします。 設定を初期状態に戻すには[Default]をクリックします。
VIDEO PROFILE 1-2	
◆ Mode	画像のフォーマットを以下から選択します。 <ul style="list-style-type: none"> <li>• [JPEG]: 画像をJPEG方式で圧縮します。</li> <li>• [H.264]: 画質を損なうことなくデータサイズとビットレートを抑えることが可能な効率のよい圧縮技術です。MPEGよりさらに少ない帯域で高品質な画質を保持できます。</li> </ul>
◆ Frame size	画像のフレームサイズを設定します。 フレームサイズが以下の「View window area」よりも大きい場合、パン&チルト機能(ePTZによるもののみ)を使用することができます。
◆ View window area	Live Video画面に表示するウィンドウのサイズを指定します。
◆ Maximum frame rate	最大フレームレートを設定します。 設定値が高いほどよりなめらかな動きの映像が提供されますが、多くの帯域幅を必要とします。
◆ Video quality	画質を設定します。 [Fixed Quality]を選択すると、画質を優先し、それに応じた帯域幅が使用されます。 帯域幅使用率を固定したい場合は、[Constant bit rate]でビットレートを選択してください。 <ul style="list-style-type: none"> <li>• [Constant bit rate]: ビットレートを設定します。数値が高いほど高画質になります。</li> <li>• [Fixed Quality]: 画質を[Excellent][Good][Standard]から選択します。</li> </ul>

### 重要

- 画面アスペクト比の設定を変更すると、プライバシーマスク、動体検知の設定内容がクリアされます。
- フレームレートとビットレートの数値を高く設定すると高画質の映像が提供されますが、より多くの帯域幅が消費されます。

# Preset

[\[SETUP\] > \[Preset\]](#)

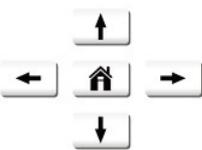
カメラを向ける位置をLIVE VIDEO欄で設定し、プリセットポジションとしてカメラへ登録します。  
複数のプリセットポジションを登録し、プリセットシーケンスとして複数の位置を巡回して撮影することもできます。

The screenshot displays the D-Link web interface for the DCS-4802E camera. The main navigation bar includes tabs for LIVE VIDEO, SETUP, ADVANCED, MAINTENANCE, STATUS, and HELP. The left sidebar lists various setup options, with 'Preset' selected. The main content area is divided into three sections:

- PRESET CONTROL:** This section features a live video feed of a building. To the right of the feed are controls for 'VIDEO PROFILE' (set to 1) and 'ePTZ Speed' (set to 5). Below these are directional buttons for pan and tilt, along with a home button.
- PRESET:** This section allows for creating and managing individual preset positions. It includes an 'Input Preset Name' field with an 'Add' button and a 'Rename' button. A 'Preset List' dropdown menu is shown with a 'GoTo' button and a 'Remove' button. A note indicates that the name supports characters 0-9, A-Z, a-z, -, \*, /, and \_.
- PRESET SEQUENCE:** This section is used to create a sequence of preset positions. It shows a 'Preset Name' field with the value 'Dwell time' and a list of preset positions. Below the list are 'Add', 'Update', and 'Remove' buttons. A 'Dwell time' field is set to 10 seconds, with an 'Update' button and a note that the time should be in seconds, ranging from 3 to 30.

On the right side of the interface, there is a 'Helpful Hints..' section with the following information:

- Input Preset Name:** Using the Pan, Tilt and Zoom (PTZ) controls, move the camera view to the required position and simply by selecting the preset's name.
- Add:** This camera position is then saved as a preset position in the camera.
- GoTo:** for test the preset the preset position.
- Preset Sequence:** A preset sequence is an automated series of camera movements from one preset position to another. A guard tour can be set up to display the video streams from different preset positions in a pre-determined order, and for configurable time periods.
- Add:** set up a new preset sequence, Modify to change, and Remove to remove an existing preset sequence.

LIVE VIDEO	
◆ Video Profile	使用するプロファイルを選択します。
◆ ePTZ Speed	パン&チルト(上下左右に動く)を行う幅を指定します。数値が大きいほど広い角度でパン&チルトが行われます。
	プリセットポジションの位置を設定します。 <ul style="list-style-type: none"> <li>・矢印ボタン: 左右上下にカメラの向きを移動します。</li> <li>・ホームボタン: 初期位置(真ん中の位置)に戻ります。</li> </ul>
PRESET	
◆ Input Preset Name	プリセット名を入力します。 <ul style="list-style-type: none"> <li>・[Add]: プリセット名を登録します。</li> <li>・[Rename]: プリセット名を変更します。</li> </ul>
◆ Preset List	登録したプリセットを選択します。 <ul style="list-style-type: none"> <li>・[Goto]: 選択したプリセットポジションにカメラの位置を移動します。</li> <li>・[Remove]: プリセットを削除します。</li> </ul>
PRESET SEQUENCE	
◆ Preset List	登録したプリセットから、プリセットシーケンスに追加するプリセットをを選択します。 <ul style="list-style-type: none"> <li>・[Add]: プリセットをプリセットシーケンスに登録します。</li> </ul>
◆ Dwell time	ひとつのプリセットポジションにとどまる時間を3-30秒で入力します。 <ul style="list-style-type: none"> <li>・[update]: 滞留時間を更新します。</li> </ul>
	シーケンスに登録したプリセットの順番を入れ替えます。
	プリセットシーケンスに登録したプリセットを削除します。

### メモ

ビデオプロファイルの設定で「Frame size」が「View window area」よりも大きく設定されている場合、パン&チルト機能(ePTZによるもののみ)を使用することができます。これらの設定については『[Video:p.40](#)』を参照してください。

# Motion Detection

[SETUP] > [Motion Detection]

動体検知とは、映像内の動きを検知する機能です。  
検知した場合に録画を行うなどのイベントを設定することもできます。

Motion Detection画面では、動体検知の有効/無効を設定し、検知を行うエリアと感度を設定します。

設定が完了したら[Save Settings]をクリックして設定を保存してください。

## LIVE VIDEO

◆ <b>Enable Video Motion</b>	動体検知を有効にします。 有効にした場合は、下の画面で検知を行うエリアを選択します。
◆ <b>Sensitivity</b>	動体検知を行う感度を0-100%の間で設定します。 設定した数値が大きいほど感度がよくなり、動体が検出されやすくなります。
◆ <b>Clear all</b>	指定されたエリアをすべて削除します。
◆ <b>Restore all</b>	保存されている設定に戻します。
◆ <b>Select all</b>	全画面を選択します。

## メモ

- 動体検知を有効にした場合は、画像内で動体検知を行うエリアを選択してください。  
左クリックしながらマウスを移動させると、エリアを選択できます。  
画像内でマウスを右クリックすると、[Select All][Clear All][Restore All]の動作を選択できます。
- 動体を検知した場合に録画を行うなどのイベントを設定することができます。  
詳細および設定方法については『Event Setup:p.46』を参照してください。

# Time and Date

[SETUP] > [Time and Date]

本製品の日時設定、およびサマータイムの設定を行います。

設定が完了したら[Save Settings]をクリックして設定を保存してください。

## TIME CONFIGURATION

◆ Time Zone	お使いの地域に合わせてタイムゾーンを設定します。
◆ Enable Daylight Saving	サマータイムを有効にします。 <ul style="list-style-type: none"> <li>• [Auto Daylight Saving]: 自動でサマータイムを実行します。</li> <li>• [Set date and time manually]: 以下の項目を入力し、手動でサマータイムを実行します。 <ul style="list-style-type: none"> <li>- [Offset]: サマータイムの実施により調整する時間を選択します。</li> <li>- [Start Time]: サマータイムを開始する日時を選択します。</li> <li>- [End Time]: サマータイムを終了する日時を選択します。</li> </ul> </li> </ul>

## AUTOMATIC TIME CONFIGURATION

◆ Synchronize with NTP Server	NTPサーバと同期して時間設定を行います。 有効にした場合は同期するNTPサーバを設定してください。
-------------------------------	---

## SET DATE AND TIME MANUALLY

◆ Set date and time manually	手動で日時を設定します。 有効にした場合は、日時を選択してください。
◆ Copy Your Computer's Time Settings	お使いのコンピュータに設定されている日時をコピーします。

# Event Setup

[\[SETUP\] > \[Event Setup\]](#)

イベントの発生条件とイベントの内容を設定します。

例:「動体検知が発生」(イベントの発生条件)した場合には、「FTPサーバへ画像を送信する」(イベントの内容)

以下の4つのセクションで設定を行います。「Add」をクリックすると各セクションの設定ウィンドウが表示されます。

- **SERVER(サーバ):**  
イベントが発生した際に、取得した画像・ビデオクリップなどのメディアを送信する宛先を設定します。
- **MEDIA(メディア):**  
イベントが発生した際に、どのメディアで記録を行うかを設定します。
- **EVENT(イベント):**  
イベントの発生条件(動体検知など)を設定します。  
ここで設定した動作が発生すると、MEDIAで設定した形式の記録がSERVERで設定した宛先へ送信されます。
- **RECORDING(録画):**  
スケジュールを設定して録画を実行します。

## メモ

- 各セクションで追加できる最大設定数は以下の通りです。  
サーバ:5/メディア:5/イベント:2/録画:1
- EVENT/SERVER/MEDIAセクションの役割は以下のとおりです。



## SERVER

SERVERセクションの[Add]をクリックし、以下の画面で設定を行います。  
異なるイベントに対して5つの異なるサーバを設定できます。

設定が完了したら[Save Settings]をクリックして設定を保存してください。

### SERVER TYPE

◆ <b>Server Name</b>	サーバ名を入力します。
◆ <b>Email</b>	E-mailサーバへメディアを送信する場合に選択し、E-Mailサーバアカウントの情報を入力します。
◆ <b>FTP</b>	FTPサーバへメディアを送信する場合に選択し、FTPサーバアカウントの情報を入力します。
◆ <b>Network storage</b>	ネットワーク上のストレージへメディアを送信する場合に選択し、必要項目を入力します。

### メモ

[Test]をクリックするとテストを行うことができます。

## MEDIA

MEDIAセクションの[Add]をクリックし、以下の画面で設定を行います。  
異なるイベントに対して5つの異なるメディアを設定できます。

設定が完了したら[Save Settings]をクリックして設定を保存してください。

### MEDIA TYPE

◆ Media name	メディア名を入力します。
◆ Snapshot	<p>イベントが発生した際にスナップショットを取得します。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>• [Source] プロファイルを選択します。</li> <li>• [Send XX pre-event image(s) [0~3]][Send XX post-event image(s) [0~7]] イベント発生の前後に取得するスナップショット数を設定します。</li> <li>• [File Name Prefix] 取得したスナップショットにつけるファイル名を設定します。</li> <li>• [Add date and time suffix to file name] ファイル名に日時を追加します。</li> </ul>
◆ Video Clip	<p>イベントが発生した際にビデオクリップを取得します。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>• [Source] プロファイルを選択します。</li> <li>• [Pre-event recording: XX Second(s) [0~3]] イベント発生の前後に取得するビデオクリップの秒数を設定します。</li> <li>• [Maximum duration: XX Second(s) [1~100]] ビデオクリップを取得する最大秒数を設定します。</li> <li>• [Maximum file size: XX Kbytes [100~5000]] 取得するビデオクリップの最大ファイルサイズを設定します。</li> <li>• [File Name Prefix] 取得したビデオクリップにつけるファイル名を設定します。</li> </ul>
◆ System Log	イベントが発生した際にシステムログを取得します。

## EVENT

EVENTセクションの[Add]をクリックし、以下の画面で設定を行います。  
最大3つのイベントを設定できます。

設定が完了したら[Save Settings]をクリックして設定を保存してください。

**D-Link**

DCS-4802E // LIVE VIDEO **SETUP** ADVANCED MAINTENANCE STATUS HELP

Setup Wizard  
Network Setup  
Dynamic DNS  
Image Setup  
Video  
Preset  
Motion Detection  
Time and Date  
**Event Setup**  
Logout

**EVENT**

You can set at most 2 events like motion detection or digital input trigger here and arrange the detection schedule at the same time.

Save Settings Don't Save Settings

**EVENT**

Event name:

Enable this event

Priority: normal ▼

Delay for  seconds before detecting next event [For motion detection]

**TRIGGER**

Video motion detection

Periodic  
Trigger every  minutes

System boot

**EVENT SCHEDULE**

Sun  Mon  Tue  Wed  Thu  Fri  Sat

**Time**

Always

From   To

**ACTION**

FTP

Attached media: Snapshot ▼

Save Settings Don't Save Settings

**Helpful Hints..**

**Priority:** The event with higher priority will be executed first.

There are five kinds of trigger supported.

**Video motion detection:** Select the windows which need to be monitored.

**Periodic:** The event is triggered in specified intervals. The unit of trigger interval is minute.

**System boot:** The event is triggered when the system boot up.

**Sun ~ Sat:** Select the days of the week to perform the event.

**Time:** show "Always" or input the time interval.

EVENT	
◆ <b>Event name</b>	イベント名を入力します。
◆ <b>Enable this event</b>	イベントを有効にします。
◆ <b>Priority</b>	イベントの優先度を[Highest] (最優先) [High] (優先) [Normal] (普通) から選択します。
◆ <b>Delay for XX seconds before detecting next event [For motion detection]</b>	次のイベントを検出する前の遅延時間 (秒) を設定します。 対象となるイベントは動体検知です。
TRIGGER	
◆ <b>Video motion detection</b>	動体検知が行われた際にイベントが発生します。
◆ <b>Periodic</b>	定期的にイベントが発生します。 • [Trigger every XX minutes]: 発生間隔を設定します。
◆ <b>System boot</b>	システムが起動した際にイベントが発生します。
EVENT SCHEDULE	
◆ <b>Sun - Sat</b>	イベントを実行する曜日を選択します。
◆ <b>Time</b>	イベントを実行する時間を設定します。 • [Always]: 常に録画を行います。 • [From][To]: イベントを実行する時間を選択します。
ACTION	
◆ <b>&lt;server&gt;</b>	SERVER/MEDIAセクションで設定したサーバ名、メディア名が表示されます。送信先のサーバと送信するメディアを指定します。 • [Attached media]: メディアを選択します。

## RECORDING

RECORDINGセクションの[Add]をクリックし、以下の画面で設定を行います。録画を行うスケジュールや録画のデータサイズなどを設定できます。最大2つの録画設定を保存することができます。

設定が完了したら[Save Settings]をクリックして設定を保存してください。

The screenshot shows the D-Link web interface for the DCS-4802E camera. The 'RECORDING' section is active, showing options to enable recording, set a priority (normal), and choose a source (Profile 1). The 'RECORDING SCHEDULE' section allows selecting days of the week (Sun-Sat) and setting a time range (Always or From 00:00 To 23:59). The 'RECORDING SETTINGS' section includes a destination (None), total cycling recording size (1000 Mbytes), size of each file (10 Mbytes), time of each file (10 seconds), and a file name prefix field. There are 'Save Settings' and 'Don't Save Settings' buttons at the bottom of each section. A 'Helpful Hints..' sidebar on the right provides additional information about recording options.

### RECORDING

◆ Recording entry name	録画名を入力します。
◆ Enable this recording	録画を有効にします。
◆ Priority	録画の優先度を[Highest] (最優先) [High] (優先) [Normal] (普通) から選択します。
◆ Source	録画を行うプロファイルを選択します。

### RECORDING SCHEDULE

◆ Sun - Sat	録画を実行する曜日を選択します。
◆ Time	録画を実行する時間を設定します。 <ul style="list-style-type: none"> <li>• [Always]: 常に録画を行います。</li> <li>• [From][To]: 録画を実行する時間を選択します。</li> </ul>

### RECORDING SETTINGS

◆ Destination	録画したファイルの保存先を選択します。
◆ Total cycling recording size	メディア上で録画に使用できるストレージの最大量を入力してください。ファイルは繰り返しストレージに書き込まれます。必要に応じて、古いファイルは上書きされます。
◆ Size of each file for recording	各録画ファイルのデータサイズを設定します。
◆ Time of each file for recording	各録画ファイルの時間 (秒) を設定します。
◆ File Name Prefix	取得した録画データにつけるファイル名を設定します。

---

# Advanced (詳細設定)

# 5

デジタル入出力、ICR、アクセスリストなど、カメラの詳細設定を行います。

■ ICR and IR.....	53
■ HTTPS.....	54
■ Access List.....	55
■ SNMP.....	56

# ICR and IR

[ADVANCED] > [ICR and IR]

本項目ではICRとIRの設定を行います。

ICR(IR Cut Removable／赤外線・カット・リムーバブル)フィルタは、赤外線をカットする機能です。夜間モードではフィルタが有効、昼間モードではフィルタが無効となります。撮影環境に応じてフィルタを有効／無効にすることにより、実物に近い色彩の画像を取得することができます。IR LIGHT欄では、IR(赤外線)LEDの設定を行います。

設定が完了したら[Save Settings]をクリックして設定を保存してください。

ICR	
◆ Automatic	ICRフィルタの動作モードを自動的に昼間モードから夜間モードに切り替えます。 <ul style="list-style-type: none"> <li>[Sensitivity]: 動作モードを夜間モードに切り替える光量の閾値(単位:lux)を設定します。右側のテキストボックスには、現在の映像の照度(lux値)が参考値として示されます。[Refresh]ボタンをクリックすると、ステータスを更新します。</li> </ul>
◆ Day mode	昼間モードを選択します。昼間モードではICRフィルタが有効になります。
◆ Night mode	夜間モードを選択します。夜間モードではICRフィルタが無効になります。
◆ Schedule mode	スケジュールモードを選択します。設定したスケジュールに従い、昼間モードに切り替わります。
IR LIGHT	
◆ IR Light Control	赤外線LEDの照度を選択します。 [Highest]を選択すると、最も明るく赤外線LEDが点灯します。 <ul style="list-style-type: none"> <li>選択肢: [Highest][High] [Medium][Low][Lowest]</li> </ul>
◆ Off	赤外線LEDを常にオフにします。
◆ On	赤外線LEDを常にオンにします。
◆ Sync. With ICR	ICRの設定と同期して、赤外線LEDのオン/オフを行います。
◆ Schedule	設定したスケジュールに従って赤外線LEDのオン/オフを行います。

# HTTPS

[\[SETUP\] > \[HTTPS\]](#)

HTTPSの設定を行います。  
HTTPSを使用すると、SSL/TLSによる暗号化でHTTP通信を安全に行うことができます。  
有効にするには、証明書の作成とインストールを行う必要があります。

設定が完了したら[Save Settings]をクリックして設定を保存してください。

HTTPS	
◆ Enable HTTPS secure connection	HTTPSセキュア接続を有効にします。
◆ Create certificate method	証明書の作成方法を選択します。 <ul style="list-style-type: none"> <li>• [Create self-signed certificate automatically]: 自己署名証明書を自動で作成します。</li> <li>• [Create self-signed certificate manually]: 自己署名証明書を手動で作成します。</li> <li>• [Create certificate request and install]: 証明書のリクエストとインストールを行います。</li> </ul>
◆ Create certificate	[Create]をクリックし、証明書を作成します。
CERTIFICATE INFORMATION	
証明書の情報が表示されます。	
◆ CSR Property	CSRのプロパティが別ウィンドウで表示されます。
◆ Certificate Property	証明書のプロパティが別ウィンドウで表示されます。
◆ Remove	証明書を削除します。

## メモ

HTTPSが有効になっている場合は、証明書を削除できません。  
証明書を削除する場合はHTTPSを無効にしてください。

# Access List

[\[ADVANCED\]](#) > [\[Access List\]](#)

本製品へのアクセスを許可／拒否するIPアドレスを設定します。

**D-Link**

DCS-4802E // LIVE VIDEO SETUP **ADVANCED** MAINTENANCE STATUS HELP

ICR and IR  
HTTPS  
Access List  
SNMP  
Logout

**ACCESS LIST**  
Here you can set access permissions for users to view your IP camera.

**ALLOW LIST**

Start IP address:   
End IP address:    
Delete allow list:

**DENY LIST**

Start IP address:   
End IP address:    
Delete deny list:

**Helpful Hints...**

**Allow List:**  
"Start IP Address"  
The starting IP Address of the devices (such as a computer) that have permission to access the video of the IP camera.  
"End IP Address"  
The ending IP Address of the devices (such as a computer) that have permission to access the video of the IP camera.  
"Delete Allow List"  
Remove the customized setting from the Allow List.

**Deny List:**  
"Start IP Address"  
The starting IP Address of the devices (such as a computer) that don't have permission to access the video of the IP camera.  
"End IP Address"  
The ending IP Address of the devices (such as a computer) that don't have permission to access the video of the IP camera.  
"Delete Deny List"  
Remove the customized setting from the Deny List.

## ALLOW LIST

◆ <b>Start IP address</b>	接続を許可するIPアドレス範囲の開始IPアドレスを入力します。 IPアドレス範囲の入力後、[Add]をクリックしてリストに追加します。
◆ <b>End IP Address</b>	接続を許可するIPアドレス範囲の終了IPアドレスを入力します。 IPアドレス範囲の入力後、[Add]をクリックしてリストに追加します。
◆ <b>Delete allow list</b>	許可リストを削除します。 ドロップダウンからリストを選択し、[Delete]をクリックします。

## DENY LIST

◆ <b>Start IP address</b>	接続を拒否するIPアドレス範囲の開始IPアドレスを入力します。 IPアドレス範囲の入力後、[Add]をクリックしてリストに追加します。
◆ <b>End IP Address</b>	接続を拒否するIPアドレス範囲の終了IPアドレスを入力します。 IPアドレス範囲の入力後、[Add]をクリックしてリストに追加します。
◆ <b>Delete deny list</b>	拒否リストを削除します。 ドロップダウンからリストを選択し、[Delete]をクリックします。

### 重要

許可リストの最初のエントリには、管理者が使用するコンピュータのIPアドレスが含まれるようにしてください。

### メモ

許可リストと拒否リストの範囲が重複した場合は、拒否リストの設定内容が優先されます。

例)

許可リスト: 1.1.1.0 - 192.255.255.255、拒否リスト: 1.1.1.0 - 170.255.25の場合  
→ 171.0.0.0 - 192.255.255.255のIPアドレスを持つユーザのみがカメラにアクセスできます。

## SNMP

[ADVANCED] &gt; [SNMP]

SNMPの設定を行います。

SNMP(Simple Network Management Protocol)とは、機器をネットワーク経由で監視・制御するためのプロトコルです。

**D-Link**

DCS-4802E // LIVE VIDEO SETUP **ADVANCED** MAINTENANCE STATUS HELP

ICR and IR  
HTTPS  
Access List  
SNMP  
Logout

**SNMP**

The Simple Network Management Protocol is an application layer protocol that facilitates the exchange of management information between network devices. It helps network administrators to remotely manage network devices and find, solve network problems with ease.

Save Settings Don't Save Settings

**SNMP CONFIGURATION**

Enable SNMPv1, SNMPv2c

Read/Write community private

Read only community public

Enable SNMPv3

Read/Write Security name private

Authentication type SHA

Authentication password

Encryption password

Read only security name public

Authentication type SHA

Authentication password

Encryption password

Save Settings Don't Save Settings

**Helpful Hints...**

Enable SNMPv1, SNMPv2c: Select this option and enter the names of Read/Write community and Read Only community according to your NMS setting.

**Enable SNMPv3:** This option contains cryptographic security, a higher security level which allows you to set the Authentication password and the Encryption password.  
**Security name:** According to your NMS setting, choose Read/Write or Read Only and enter the community name.  
**Authentication type:** Select MD5 or SHA as the authentication method.  
**Authentication password:** Enter the password for authentication (at least 8 characters).  
**Encryption password:** Enter a password for encryption (at least 8 characters).

## SNMP CONFIGURATION

## ◆ Enable SNMPv1, SNMPv2c

SNMPv1、SNMPv2cを有効にします。  
有効にした場合は以下の項目を入力します。

- [Read/Write community]:  
Read/Writeコミュニティの名称を入力します。
- [Read Only Community]:  
Read Onlyコミュニティの名称を入力します。

## ◆ Enable SNMPv3

SNMPv3を有効にします。  
有効にした場合は以下の項目を入力します。

- [Read/Write Security name]:  
Read/Writeセキュリティの名称を入力します。
- [Authentication type]:  
Read/Writeセキュリティの認証タイプを[SHA][MD5]から選択します。
- [Authentication password]:  
Read/Writeセキュリティの認証パスワードを入力します。
- [Encryption password]:  
Read/Writeセキュリティの暗号化パスワードを入力します。
- [Read only Security name]:  
Read only セキュリティの名称を入力します。
- [Authentication type]:  
Read only セキュリティの認証タイプを[SHA][MD5]から選択します。
- [Authentication password]:  
Read only セキュリティの認証パスワードを入力します。
- [Encryption password]:  
Read only セキュリティの暗号化パスワードを入力します。

---

# Maintenance(メンテナンス)

# 6

管理者情報の設定やファームウェアアップグレード、工場出荷時設定へのリセットなど、本製品のメンテナンスを行います。

■ Admin.....	58
■ System .....	60
■ Firmware Upgrade.....	61

# Admin

[\[MAINTENANCE\]](#) > [\[Admin\]](#)

本製品にアクセスするユーザアカウントの設定や、デバイス名の設定などを行います。

D-Link	
DCS-4802E	LIVE VIDEO   SETUP   ADVANCED   <b>MAINTENANCE</b>   STATUS   HELP
Admin System Firmware Upgrade Logout	<div style="background-color: #f4a460; padding: 5px;"><b>ADMIN</b></div> <p>Here you can change the administrator's password for your IP camera as well as add and/or delete user account(s). You can configure the information, such as IP camera's name and time via this page. You can also enable the OSD (On-Screen Display) feature in order to display the IP camera name and time stamp for your video recordings.</p> <div style="background-color: #333; color: white; padding: 2px;"><b>ADMIN PASSWORD SETTING</b></div> <p>New Password <input type="text"/> 32 characters maximum            Retype Password <input type="text"/> <input type="button" value="Save"/></p> <div style="background-color: #333; color: white; padding: 2px;"><b>ADD USER ACCOUNT</b></div> <p>User Name <input type="text"/> 20 users maximum            New Password <input type="text"/> 32 characters maximum            Retype Password <input type="text"/>  <input type="button" value="Add"/></p> <div style="background-color: #333; color: white; padding: 2px;"><b>USER LIST</b></div> <p>User Name <input type="text"/> -- User list -- <input type="button" value="Delete"/></p> <div style="background-color: #333; color: white; padding: 2px;"><b>DEVICE SETTING</b></div> <p>IP Camera Name <input type="text"/> DCS-4802E 63 characters maximum  <input checked="" type="checkbox"/> Enable OSD            Label <input type="text"/> DCS-4802E 30 characters maximum            Show Time <input checked="" type="checkbox"/>  <input type="button" value="Save"/></p> <div style="background-color: #333; color: white; padding: 2px;"><b>LED</b></div> <p>LED <input checked="" type="radio"/> On <input type="radio"/> Off <input type="button" value="Save"/></p>
<div style="background-color: #333; color: white; padding: 5px;"><b>Helpful Hints..</b></div> <p>Enabling OSD, the IP camera name and time will be displayed on the video screen for the user.</p> <p>For security purposes, it is recommended that you change the password for your administrator account. Be sure to write down the new password to avoid having to reset the IP camera in the event that it is forgotten.</p> <p><b>LED:</b> In the near panel of your camera there is a LED beside the network adapter. ON: The LED will flash a light to indicate if the network is working or not. OFF: No light will show, forth option is turn off.</p>	
<b>SECURITY</b>	

**ADMIN PASSWORD SETTING**

Web GUI にログインする管理者パスワードを設定します。  
以下の項目を入力後、[Save]をクリックして設定を保存します。

◆ <b>New Password</b>	パスワードを入力します。
◆ <b>Retype Password</b>	確認のため再度パスワードを入力します。

**ADD USER ACCOUNT**

Web GUI にログインするユーザアカウントを追加します。以下の項目を入力後、[Add]をクリックしてアカウントを追加します。

◆ <b>User Name</b>	ユーザ名を入力します。
◆ <b>New Password</b>	パスワードを入力します。
◆ <b>Retype Password</b>	確認のため再度パスワードを入力します。

**USER LIST**

Web GUI にログインするユーザアカウントを削除します。ユーザ名を選択後、[Delete]をクリックしてアカウントを削除します。

◆ <b>User Name</b>	削除するユーザを選択します。
--------------------	----------------

**DEVICE SETTING**

IPカメラのデバイス名およびOSD(On-Screen Display)の設定を行います。以下の項目を入力後、[Save]をクリックして設定を保存します。

◆ <b>IP camera Name</b>	IPカメラ名を入力します。
◆ <b>Enable OSD</b>	OSD機能を有効にします。有効にすると、映像にラベル名や時刻を表示することができます。 • [Label]: ラベル名を入力します。

**LED**

IPカメラのLEDのON/OFFを切り替えます。選択後、[Save]をクリックして設定を保存します。

◆ <b>ON / OFF</b>	[On]または[Off]を選択します。
-------------------	---------------------

# System

[MAINTENANCE] > [System]

設定のバックアップ、リストア、初期設定へのリセットを行います。  
また、本製品をリポートすることもできます。リポートは設定したスケジュールにしたがって行うことも可能です。

## SYSTEM

◆ Save To Local Hard Drive	[Save Configuration]をクリックし、ローカルハードドライブへ設定を保存します。
◆ Load From Local Hard Drive	ローカルハードドライブから設定を読み込みます。 ①[参照]をクリックして設定ファイルを選択します。 ②[Load Configuration]をクリックして設定を読み込みます。
◆ Restore To Factory Defaults	[Restore Factory Defaults]をクリックし、設定を工場出荷時の状態にリセットします。

## REBOOT

◆ Reboot Device	[Reboot Device]をクリックし、本製品をリポートします。
◆ Enable Schedule Reboot	設定したスケジュールにしたがって本製品のリポートを行います。 ①[Sun]-[Sat]からリポートを行う曜日を選択します。 ②[Time]でリポートを行う時刻を設定します。 ③[Save] をクリックして設定を保存します。

## SECURITY

◆ CSRF Protection	CSRF保護を有効にします。
-------------------	----------------

# Firmware Upgrade

[MAINTENANCE] > [Firmware Upgrade]

ファームウェアのアップグレードを行います。

## FIRMWARE INFORMATION

現在のファームウェアバージョンが表示されます。

## FIRMWARE UPGRADE

ファームウェアアップグレードを行います。

- ◆ **File Path:**
- ①[参照]をクリックしてファームウェアを選択します。
  - ②[Upload]をクリックしてファームウェアをアップロードします。
  - ③アップロードの進捗状況を示す画面が表示されます。完了までそのままお待ちください。

### 重要

ファームウェアアップグレードが完了するまでそのままお待ちください。

---

# Status(ステータス)

# 7

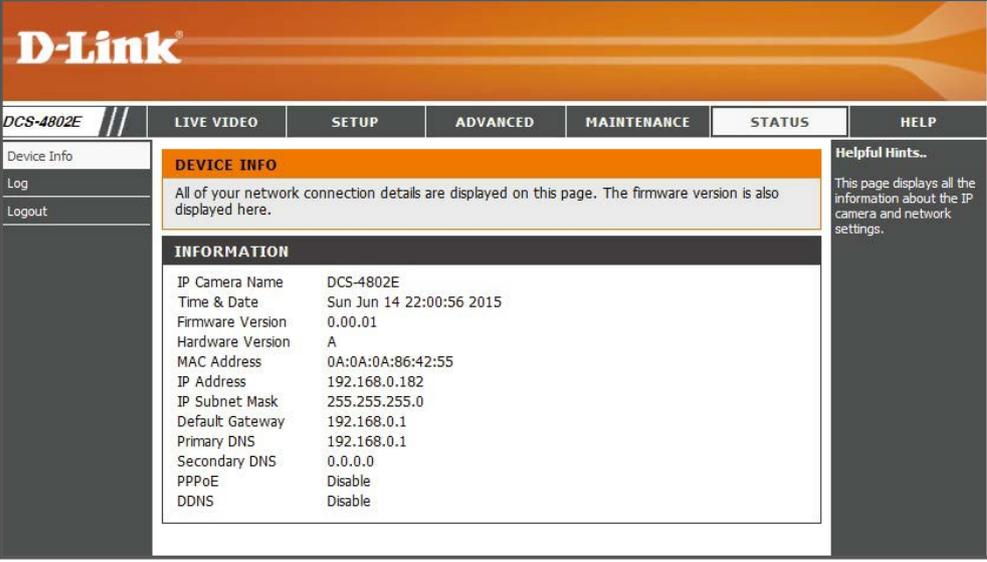
カメラのデバイス情報とログを表示します。

■ Device Info .....	63
■ Log .....	64

# Device Info

[\[STATUS\]](#) > [\[Device Info\]](#)

IPカメラ名やIPアドレス、ファームウェアバージョンなど、デバイスの情報が表示されます。



The screenshot shows the D-Link web interface for a DCS-4802E camera. The top navigation bar includes links for LIVE VIDEO, SETUP, ADVANCED, MAINTENANCE, STATUS, and HELP. The main content area is titled "DEVICE INFO" and contains the following information:

INFORMATION	
IP Camera Name	DCS-4802E
Time & Date	Sun Jun 14 22:00:56 2015
Firmware Version	0.00.01
Hardware Version	A
MAC Address	0A:0A:0A:86:42:55
IP Address	192.168.0.182
IP Subnet Mask	255.255.255.0
Default Gateway	192.168.0.1
Primary DNS	192.168.0.1
Secondary DNS	0.0.0.0
PPPoE	Disable
DDNS	Disable

Helpful Hints.. This page displays all the information about the IP camera and network settings.

# Log

[\[STATUS\]](#) > [\[Log\]](#)

IPカメラの動作のログを確認できます。

**D-Link**

DCS-4802E // LIVE VIDEO SETUP ADVANCED MAINTENANCE STATUS HELP

Device Info  
Log  
Logout

**SYSTEM LOG**  
The system log records IP camera events that have occurred.

**Helpful Hints..**  
You can save the log to your local hard IP camera by clicking the Download button, and you can clear the log by clicking on the Clear button.

**CURRENT LOG**

- 2015-06-14 21:55:12 admin FROM 192.168.0.174 SET VIDEO CODEC Need Reset
- 2015-06-14 21:55:08 admin FROM 192.168.0.174 SET PROFILE 1 Viewer window area 480x272
- 2015-06-14 21:55:08 admin FROM 192.168.0.174 SET PROFILE 1 Frame Size 480x272
- 2015-06-14 21:54:33 admin FROM 192.168.0.174 LOGIN OK
- 2015-06-14 21:43:38 SYSTEM SET HEATER HOLD
- 2015-06-14 21:43:34 DCS-4802E ACQUIRE DHCP IP 192.168.0.182
- 2015-06-14 21:43:33 SYSTEM SET IR LIGHT OFF
- 2015-06-14 21:43:33 SYSTEM BOOTING
- 2015-06-13 18:35:19 admin FROM 172.17.5.40 LOGIN OK
- 2015-06-13 18:33:18 SYSTEM SET HEATER HOLD
- 2015-06-13 18:33:14 DCS-4802E ACQUIRE DHCP IP 172.17.5.150
- 2015-06-13 18:33:13 SYSTEM SET IR LIGHT OFF
- 2015-06-13 18:33:13 SYSTEM BOOTING
- 2015-06-09 21:50:43 SYSTEM SET IR LIGHT ON
- 2015-06-09 21:50:31 SYSTEM SET IR LIGHT ON
- 2015-06-09 20:54:07 admin FROM 192.168.0.5 LOGIN OK
- 2015-06-09 20:53:57 SYSTEM SET HEATER HOLD
- 2015-06-09 20:53:53 DCS-4802E ACQUIRE DHCP IP 192.168.0.103
- 2015-06-09 20:53:52 SYSTEM SET IR LIGHT OFF
- 2015-06-09 20:53:52 SYSTEM BOOTING

First Page Previous 20 Next 20  
Clear Download

## CURRENT LOG

◆ First Page	最新のログを20件表示します。
◆ Previous 20	前のログを20件表示します。
◆ Next 20	次のログを20件表示します。
◆ Clear	ログを消去します。
◆ Download	ログをtxt形式でダウンロードします。

---

# 付録

# 8

工場出荷時状態へのリセットとよくあるご質問について記載しています。

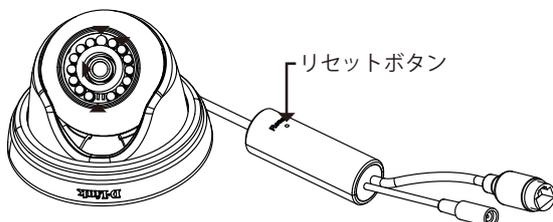
■ 工場出荷時設定に戻す .....	66
リセットボタンを使用する場合 .....	66
Web GUIからリセットする場合 .....	66
■ FAQ .....	67

## 工場出荷時設定に戻す

本製品の設定を工場出荷時状態へリセットする方法について説明します。

### ■ リセットボタンを使用する場合

本製品のリセットボタンを10秒間押してください。



### ■ Web GUIからリセットする場合

以下の画面で[Restore Factory Defaults]をクリックします。

[MAINTENANCE] > [System]

**D-Link**

DCS-4802E // LIVE VIDEO SETUP ADVANCED **MAINTENANCE** STATUS HELP

Admin  
System  
Firmware Upgrade  
Logout

**SYSTEM**  
Here you may backup, restore, and reboot your IP camera.

**SYSTEM**

Save To Local Hard Drive

Load From Local Hard Drive

Restore To Factory Defaults

**REBOOT**

Reboot Device

Enable Schedule Reboot

Sun  Mon  Tue  Wed  Thu  Fri  Sat

Time  :  [hh:mm]

**SECURITY**

CSRF Protection

**Helpful Hints..**  
After the factory's default settings have been restored, use the installation wizard software provided with your IP camera to search and connect to the IP camera.  
**CSRF:** Select this option to prevent Cross-Site Request Forgery attack for your camera.

## FAQ

---

**Q 本製品の設定を行うコンピュータからWeb ベースの設定メニューにアクセスできません。**

- A**
- ① Webブラウザが本製品の対応しているバージョンであるか確認してください。
  - ② LED が点灯していることを確認してください。  
LED が点灯していない場合は、UTP ケーブルが正しくポートに接続されているか確認してください。
  - ③ 設定用PC のIP アドレスが本製品と同じアドレス範囲およびサブネット内であるか確認してください。
  - ④ コンピュータ上のすべてのインターネットセキュリティソフトウェアの動作を無効にしてください。  
Zone Alarm、Black Ice、Sygate、Norton Personal ファイアウォール、およびWindows Personal ファイアウォールなどのソフトウェアファイアウォールは設定ページへのアクセスを妨害する可能性があります。
  - ⑤ 上記の点を確認してもアクセスできない場合は、一度本体の電源を抜き、再接続してみてください。

**Q パスワードを忘れた場合はどうすればよいでしょうか。**

- A** 設定のリセットを行ってください。  
詳細は『工場出荷時設定に戻す : p.66 』を参照してください。

**Q 電源LEDが点灯しません。**

- A** PoE給電機器が正しく接続されているか確認してください。  
また、Web GUIの[MAINTENANCE]>[Admin]のLEDセクションで、LED表示をOffに設定した場合は、電源が入っていてもLEDは点灯しません。